

かわせみ

Hinohito
Kawasemikui

Kawasemi



1991. 2. NO. 6

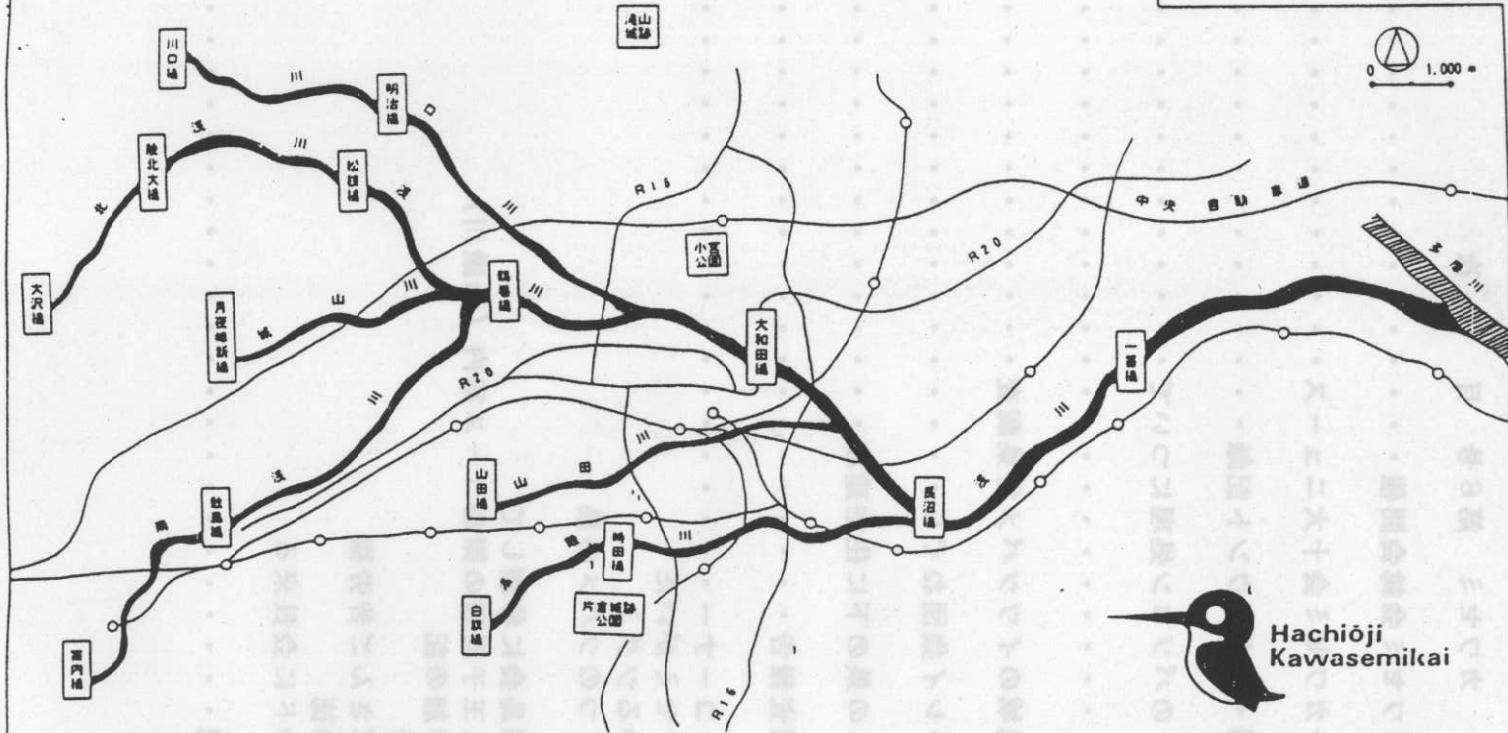
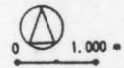
90 Kinnai

八王子カワセミ会・発行

カワセミ 第6号 目 次

	ページ
☆ 第3回八王子カワセミ会総会開催	3
☆ 平成2年八王子カワセミ会十大ニュース	6
☆ 平成2年の定期・定点カウント記録	7
☆ カウントデータのパソコン処理について	22
☆ 鳥 信	27
☆ 平成2年浅川流域のイワツバメ営巣調査	35
☆ 横山町ハクセキレイ集団ねぐら	37
☆ ヒメアマツバメの巣の下に住宅建設	38
☆ 身近な生き物調査報告	39
☆ ウオッチング・コーナー	40
○ここにもカワセミがいた	
○防鳥網にかかるツグミ	
○我が家には4つのツバメの巣	
○モズの執念	
○おびつ川の探鳥会に参加して	
○私の好きな八王子周辺の探鳥コース案内（湯殿川）	
○探鳥会に初参加の記	
○新潟探鳥旅行	
○カルガモおぼさんご苦労様	
○屋外喫煙の功德	
○我がフィールドに会員来る	
☆ 編集後記	50

カウント位置図



Hachioji
Kawasemikai

大沢川	北沢川 6.0 Km	松	松	湊川本流 15.8 Km	三	川口川 6.9 Km	湊川合流	宮内川	瀬川 7.5 Km	北沢川合流	丹波橋防橋	城山川	北沢川合流	山田川	湊川合流	白	湊川 6.1 Km	湊川合流
3.3	2.7	2.1	3.1	2.7	3.5	4.4	3.1	3.8	3.3	4.2	2.7	4.5	2.3	3.8	2.3	3.8		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	

全 域 長 49.5 Km

第3回八王子カワセミ会総会 開催

1991年(平成3年)1月13日(日)、八王子カワセミ会の総会が、八王子市の天神町会館において会員29名が出席し、午後2時から開催されました。

今回の総会は、会員の増加(当日現在60名)に伴う活動を活発にする為(1)役員1名増加 (2)ホーム・フィールド、(浅川)の探鳥会の毎月実施 (3)市の鳥制定運動の取組み (4)各種調査活動・催物の開催等、事業計画の拡充が議題として提案され、活発な討論があり、ほぼ提案通り可決されました。

主な内容は次の通りです。

- (1) 前年度事業報告の承認
- (2) 前年度会計報告の承認
- (3) 本年度事業計画の審議・可決 ※1.別記参照
- (4) 役員1名増加の件・承認 ※河村道寛氏が就任(会計担当)
- (5) 本年度予算の審議・可決

※併せて(1)会費納入について(2)予算の補正について、の内規も可決。

当日、総会に先立って(午前中)行われたガン・カモ調査は、北浅川・南浅川・浅川本流(多摩川合流点迄)をはじめ川口川、城山川、山田川、湯殿川の15区域にわたり、会員20名が参加して実施されました。

総会前に集計を行いました。カウントされた鳥は61種、11356羽という結果となり、昨年の調査結果を上回る数となりました。

詳細については次号に掲載する予定です。

総会終了後、恒例の新年会が同会場で行われました。

席上、先ず最初に会員の小山万太郎さんから当会にバード・ガイドと称した野鳥の(特に浅川を中心とした)原寸大の模型50種が贈呈されました。

この模型は、小山氏独自の制作によるもので、探鳥会の鳥合わせ等で活用するのに大変役立つものとして全員から大歓迎の拍手を受けました。

続いてパーティーに入り、会員から寄贈された鳥に関する品物やその他の品物をオークションにかけるイベントが、会員の今井、木村両氏がオークションニアとなって行われ、売り上げ金が会の運営費として寄付されました。

パーティーでは、皆さん和気あいあいで大いに飲み且つ食べ、野鳥観察への夢や期待を話し合いながら楽しい一時を過ごし午後9時過ぎ解散しました。

今年も野鳥の観察・調査に奮って参加しましょう!

※ 1991年(平成3年)の事業計画

(1) 探鳥会の実施

月	浅川・浅川周辺	その他(オプション)
1月	27日(日) 公開探鳥会 浅川(大和田橋⇒長沼橋)	
2月		9日(土)～11日(日) 名古屋探鳥会 17日(日) 日野ボーイスカウト支援探鳥会 多摩川(聖跡桜ヶ丘)
3月	10日(日) 会員探鳥会 多摩川(滝山城跡下)	
4月	14日(日) 会員探鳥会 浅川(陵北大橋⇒松枝橋)	27日(土)～29日(月) 戸隠探鳥会
5月	12日(日) 公開探鳥会 浅川(大和田橋⇒長沼橋)	3日(祭) 三頭山探鳥会 25日(土)～26日(日) 朝霧高原探鳥会
6月	9日(日) 会員探鳥会 浅川(極楽寺⇒大和田橋)	22日(土)～23日(日) 尾瀬探鳥会
7月	14日(日) 会員探鳥会 浅川(平山橋⇒長沼橋)	
8月	11日(日) 会員探鳥会 浅川(大和田橋⇒長沼橋)	
9月	8日(日) 会員探鳥会 多摩川(滝山城跡下)	16日(振替休日) 東京湾島西臨海公園探鳥会
10月	13日(日) 会員探鳥会 北浅川(陵北大橋⇒大沢橋)	
11月	10日(日) 公開探鳥会 浅川(鶴巻橋⇔松枝橋)	
12月	8日(日) 会員探鳥会 湯殿川(片倉城跡公園⇔時田橋) ※片倉城跡公園の果箱清掃	1日(日) 東京都緑の推進委員、八王子 の会、支援探鳥会 浅川(大和田橋⇒長沼橋) 31日(火) 大晦日探鳥会 ※場所未定

[注] 3月以降の浅川・浅川周辺探鳥会は原則として毎月第2日曜日に行います。
集合場所・時間及びオプション日程等は追って連絡いたします。

(2) 定地、定点カウント

- [1] 浅川 (大沢橋⇄陵北大橋) 今井達郎
- [2] " (陵北大橋⇄松枝橋) 河村道寛、河村洋子
- [3] " (松枝橋⇄鶴巻橋) 粕谷和夫
- [4] " (鶴巻橋⇄大和田橋) 椋沢 努
- [5] " (大和田橋⇄長沼橋) 斎藤高昭
- [6] " (長沼橋⇄一番橋) 門口一雄
- [7] " (一番橋⇄多摩川合流) 阿江範彦
- [8] 多摩川 (滝山城跡下) 三好恒雄
- [9] 小宮公園 藤江 豊、田中英吉
- [10] 片倉城跡公園・湯殿川 平沢辰夫
- [11] ヒメアマツバメ (東浅川) 川上
- [12] ハクセキレイねぐら (横山町) 粕谷和夫

：お願い：上記の各担当者を中心に、各会員同志が誘い合って、カウント調査に参加するミニ探鳥会を毎月開くよう配慮して下さい。

(3) 各種調査活動

- [1] ガン・カモ類全国一斉調査 (日本野鳥の会) へ参加 (1月13日浅川)
- [2] カルガモ親子繁殖調査 (5～7月、浅川流域全域)
- [3] イワツバメ営巣調査 (5～7月、浅川流域全域)
- [4] 巣箱調査 (年間、片倉城跡公園)
- [5] 花を食べるスズメ調査 (3～4月、浅川流域全域)
- [6] 野鳥の集団ねぐら調査 (年間、浅川流域全域)

：注：調査の内容、方法等詳細については、別途お知らせします。

(4) 浅川の鳥信情報の収集

- [1] 渡り鳥の初認、終認記録 [2] 留鳥、夏鳥の繁殖記録 [3] 希少種の出現記録 [4] 昆虫、野生動物等の記録 [5] その他

：お願い：(1)-(5) について、見たり、聞いたりした都度メモにより粕谷会長までお届け下さい。会報「かわせみ」の鳥信欄に載せます。

(5) 野鳥保護を中心とした諸活動、催物の実施

- [1] 「八王子市の鳥」制定 [2] 「カルガモ祭り」の開催 [3] 「浅川サミット」の開催 [4] 他団体等との提携、探鳥会の支援、指導等。
- 今後は、巾広い活動を幹事会、実行委等を開いて検討、実施していく。

(6) 会報「かわせみ」第6号 (2月頃)、第7号 (8月頃) の発行

：お願い：会員各位の積極的な原稿提出 (投稿) をお待ちしております。

平成2年八王子カワセミ会十大ニュース

★浅川の野鳥展開催

4月29日、緑の日に八王子市横山町の西放射線通り突き当たりの三角広場で開催、浅川に100種もの野鳥がいることを小山会員製作のバードカービングを使って展示した。

★規約を改正し、年会費制に移行、会員数は倍増

昨年までは定期会員制でなかったため会員の特定が困難であったので、これを改正して年会費制にした。12月時点で会員は62名となった。

★定地、定点カウント10ヶ所に、浅川上流から多摩川合流までをカバー

毎月1回の定期カウントを昨年より3地区増やし、浅川の恩方(大沢橋)から日野の多摩川合流点まで約22Kmが連続して調査地となった。

★榎原中PTA探鳥会を支援、その他2ヶ所でも支援

1月に榎原中PTA(浅川鶴巻橋)、3月にDBS歩こう会(多摩川聖跡桜ヶ丘)、8月に女子栄養大学「食事作りセミナー」(宮城蔵王)の探鳥会を支援した。

★八王子カワセミ会のシンボルマークできる

片桐会員の作でカワセミをデザイン化した可愛いシンボルマークができた。

★カワウの集団、浅川に現われる

2月に約200羽の集団が浅川に突如現われ、夏は出現しなかったが秋から冬にかけて、殆ど毎日50羽前後(もっと少ない日もある)飛んできた。

★浅川でチョウゲンボウ繁殖か

浅川の新浅川橋付近の水道局500トン給水タンク(八王子市北野町)に営巣繁殖した模様である(浅川で初記録、来年確認したい)。

★タゲリ、アリスイ、オシドリ等稀少種出現

タゲリ、ハヤブサ、ミコアイサ、オシドリ、アメリカコガモ、アメリカヒドリ、シマアジ、アリスイ、コヨシキリ、コムクドリ、カワガラスなどの稀少種が浅川で記録された。

★桜の花を食べるスズメを確認

最近全国的に話題になっている桜の花を食べるスズメの行動を浅川流域でも清川公園や富士森公園で確認した。

★東浅川のヒメアマツバメがピンチに 京王帝都(株)は保護を約束

京王高尾線高架下のヒメアマツバメコロニーの下に京王帝都電鉄(株)が社宅の建設を始めた。これにより貴重なヒメアマツバメの集団の巣が破壊される心配が出てきたため、東京都緑の推進委員八王子の会を通じ保護を要望したところ、京王帝都(株)は保護することを約束した。このことは読売、毎日、朝日の各新聞にも取り上げられた。

(番外) 粕谷会長、読売新聞に三たび登場

4月12日浅川の野鳥展開催、9月28日「浅川を歩く」シリーズの3回目、11月25日ヒメアマツバメのコロニー保護の記事が出た。



平成2年の定期・定点カウント記録

1. 北浅川：大沢橋～陵北大橋

調査：今井

1990年 開始 終了 天気	月/日 時:分 時:分 (前後)	1/14 7:00 1000 晴	2/10 9:05 1400 曇	3/11 8:37 1145 晴	4/07 8:28 1140 晴曇	5/06 8:15 1200 曇晴	6/03 8:00 1140 晴	7/07 7:30 1200 曇	8/11 7:45 1145 曇晴	9/01 7:00 1045 晴	10/6 7:20 1130 曇雨	11/10 7:00 1100 曇晴	12/2 8:00 1130 晴
052	ゴイサギ						4						
059	コサギ	8	2	8	2		5			3	3	1	2
088	カルガモ	14	39	37	18	10	18	32	12	12	8	18	10
089	コガモ	25	14	17	15	2							
120	トビ				1	1							
123	オオタカ					1							
141	ハヤブサ					1							
149	コジュケイ		2			1	2	4			4		
151	キジ		3	1	3	3	5	2		2		2	
177	イカルチドリ	1											
214	クサシギ	1				2							
217	キアシシギ												
230	タシギ				1								
296	キジバト	12	10	8	11	5	7	9	13	20	8	29	14
304	ホトトギス						2	1					
326	カワセミ		3	2	2		1	1	1	1	1	1	1
339	コゲラ		1		1	2							
344	ヒバリ					1							
347	ツバメ				5	6	21	25	24	2			
354	キセキレイ	3				10	10	11	7	13	1	6	
355	ハクセキレイ	4	2										
356	セグロセキレイ	13	15	10	4	8	23	21	15	14	8	20	7
363	タヒバリ		1										
367	ヒヨドリ	20	27	12	26	7	19	28	12	10	26	50	20
369	モズ	2	3	2		2	1		1	2	2	6	1
375	カワガラス											1	
387	ジョウビタキ	2	5	1								4	1
405	ツグミ	19	17	10	9								1
410	ウグイス	1	1		4	1	3	3	1				
416	オオヨシキリ					1							
441	シジュウカラ	8	3	8	7	4	3	2	7	5	1	1	
444	メジロ					1			1				
449	ホオジロ	8	30	27	7	4	3	5	3	2		12	1
455	カシラダカ	14	49	9								1	9
461	アオジ		2	6	1	1						9	3
471	カワラヒワ	45	31	1	1	1				2		41	52
485	イカル				1		1			1			
486	シメ		2										

1990年 月/日	1/14	2/10	3/11	4/07	5/06	6/03	7/07	8/11	9/01	10/6	11/10	12/2
488 スズメ	55	60	17	11	6	46	65	45	44	49	29	13
493 ムクドリ	21	33	5	22	13	37	57			36	27	6
496 カケス					1							
498 オナガ		2			11	4	14	3	18		30	12
503 ハシボンガラス	8	3	4	8	2	8	11	15	10	14	18	5
504 ハシブトガラス	2	16	5	5	3	4	6			2		6
A アヒル		7	6							4		
B ドバト		3	15		1				1			15
種類合計	22	29	22	23	30	22	18	16	18	15	20	19

2. 北浅川：陵北大橋～松枝橋

調査：三好・粕谷・河村

1990年 月/日	1/14	2/10	3/11	4/15	5/20	6/17	7/07	8/11	9/09	10/20	11/12	12/8
開始 時:分	7:00	8:20	5:58	7:00	7:50	5:35	8:10	7:24	7:20	7:05	7:00	8:40
終了 時:分	9:00	11:20	10:28	10:30	10:15	8:10	10:50	9:15	10:25	10:05	10:10	11:25
天候	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	快晴
調査担当者	三河	粕河	粕河	粕河	河村	河村	河村	粕谷	粕河	河村	粕河	河村
005 カイツブリ											1	
052 ゴイサギ						3	5	4	2		1	
054 ササゴイ					4	3	4	2				
057 ダイサギ	1	1						1				
059 コサギ	5	5	11	4		2	1	5	6	8	8	8
087 マガモ	3	3										
088 カルガモ	78	50	25	30	16	23	21		22	38	12	33
089 コガモ	86	100	45	35					1	7	37	45
095 オナガガモ	2	2										
120 トビ		2	1	1			1				1	
145 チョウゲンボウ				1							1	
149 コジュケイ	1		10	5	2		1		2		2	1
151 キジ		3		3	4	6	2			2		
177 イカルチドリ	9	6	2	2	3	7	8	1			2	
214 クサシギ	1	2										
217 キアシシギ					8							
218 イソシギ	4	1		2					1	1		1
245 ユリカモメ	22	10		16							23	8
296 キジバト	16	30	20	15	11	21	17	15	14	26	25	8
326 カワセミ	6	6	10	2	3	2	2	3	8	6	4	4
330 アリスイ											1	
331 アオゲラ		1										
339 コゲラ		2		1		2	6	1				
347 ツバメ				25	19	74	42	60	30			
350 イワツバメ					5		23					

北浅川：陵北大橋～松枝橋

(続き)

1990年 月/日	1/14	2/10	3/11	4/15	5/20	6/17	7/07	8/11	9/09	10/20	11/12	12/8
354 キセキレイ	7	1	5		5	10	13	7	3		8	
355 ハクセキレイ	4	2	6	4					2	7	10	5
356 セグロセキレイ	32	20	20	25	23	27	24	25	30	45	26	18
363 タヒバリ	3	2	3	2								
367 ヒヨドリ	5	6	15	150	32	48	28	20	32	50	22	22
369 モズ	2	5	7	8	5	8	1	1	9	16	11	5
387 ジョウビタキ	9	2	1								4	3
400 アカハラ		1	1									
405 ツグミ	90	25	25	25							1	24
410 ウグイス	2	1	4	3	1		1	1			1	
416 オオヨシキリ					1				4			
441 シジュウカラ	7	16	15	10	3	4	8	6	5	1	6	9
449 ホオジロ	110	100	115	25	9	7	7	10	2	4	50	48
455 カシラダカ	25	25	35	4							10	21
461 アオジ	6	10	10	5							10	9
471 カワラヒワ	200	80	190	15	3	8	20	15	10	105	67	110
485 イカル				2								
486 シメ	7	4	4	1							2	1
488 スズメ	80	50	80	70	170	180	160	100	80	43	100	365
493 ムクドリ	20	40	80	40	60	150	80	50	92	58	40	55
496 カケス				32						3		
498 オナガ	30	2		5	7	6	3	2	13		5	33
503 ハシボソガラス	34	30	30	20	36	16	10	15	27	50	28	30
504 ハシブトガラス	7	90	15	15	2	10	3	30	2	4	15	16
B ドバト	35	30	45	10		46	46	150	61	60		3
種類合計	34	38	29	35	24	23	27	23	24	20	32	26

3. 浅川：松枝橋～鶴巻橋

調査：小沢・三好

1990年 月/日	1/14	2/18	3/11	4/25	5/18	6/28	7/25	8/31	9/28	10/29	12/4	12/27
開始時(分)	7:00	6:40	6:50	7:30	6:30	7:00	6:00	6:00	7:00	7:30	6:45	7:40
終了時(分)	9:00	9:50	9:50	1000	9:00	9:20	8:10	9:15	1000	1020	9:00	9:50
天気	晴	晴	晴	晴	曇	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴
調査担当者	小沢	三好	三好	三好	三好	三好	三好	三好	三好	三好	三好	三好
040 カワウ		300										
052 ゴイサギ					3	4	6	2	1			
054 ササゴイ					1	1	2					
057 ダイサギ		2										
059 コサギ	8	4	6	3	1		3	4	4	6	4	4
062 アオサギ		1								1		1
087 マガモ	5	5	4							7		2
088 カルガモ	32	83	95	72	40	48	37	34	20	40	22	28

1990年 月/日	1/14	2/18	3/11	4/25	5/18	6/28	7/25	8/31	9/28	10/29	12/4	12/27
089 コガモ	69	66	106	33					2	20	25	56
093 ヒドリガモ	11	26	19									4
095 オナガガモ	27	2										18
120 トビ		1	2		1	2	1		1		1	
149 コジュケイ			2									
151 キジ	2	1	1	4	5		1					
176 コチドリ					1	2						
177 イカルチドリ		8	2	3	9	6	2	4	5			7
217 キアシシギ					4							
218 イソシギ	3	6	2	2	2			1	7	2	5	
230 タシギ	2	2	2									1
245 ユリカモメ	38	45	2	30						43	41	22
246 セグロカモメ												1
296 キジバト	16	35	26	22	33	30	25	26	21	23	13	18
326 カワセミ	1			3		1	1	2	3		1	1
330 アリスイ		1										
331 アオゲラ		1										
339 コゲラ		1		2			2		1	1	1	
344 ヒバリ	3	4	6	1	5	2		1		2		
347 ツバメ				50	45	50	75	30	10			
350 イワツバメ				25	25	30	15					
354 キセキレイ	1			1		6		14	1	2		1
355 ハクセキレイ	9	6	13	3		2	6	9	2	17	13	15
356 セグロセキレイ	11	31	20	7	15	13	21	17	12	28	20	16
363 タヒバリ	6	5	3							2	2	4
367 ヒヨドリ	6	21	31	45	36	25	32	15	30	32	30	7
369 モズ	1	6	2	1	1	1		2	7	11	5	
375 カワガラス										1		
387 ジョウビタキ	4	3	2							5		2
405 ツグミ	34	85	88	23							30	7
410 ウグイス	2	1	1	2						1	1	
415 コヨシキリ							2					
416 オオヨシキリ				2		3	2	1				
425 セッカ				3	3	4	3	4	2	1		
435 エナガ		4	2									2
441 シジュウカラ	2	12	4	6	2	2	4	2	8	7	8	11
444 メジロ	3											
449 ホオジロ	25	31	26	2	4	4	2	1		8	30	33
455 カシラダカ	14	22	2								2	2
461 アオジ	4	4	3							11	6	4
471 カワラヒワ	180	115	58	10	6	10	10	15	60	100	115	140
485 イカル				1				1				
486 シメ	1	2	3								2	1
488 スズメ	100	90	60	50	80	80	80	80	150	60	110	90
493 ムクドリ	84	86	85	60	63	65	90	140	70	30	55	95

浅川：松枝橋～鶴巻橋

(続き)

1990年 月/日	1/14	2/18	3/11	4/25	5/18	6/28	7/25	8/31	9/28	10/29	12/4	12/27
498 オナガ		5				2	3	4		2		
503 ハシボンガラス	2	31	24	27	27	20	9	25	25	18	20	20
504 ハシブトガラス	26	11	17	5	10	5	2	2	4	7	10	8
B ドバト	11	10	10	5	4	8	8	4	4	10	11	8
種類合計	34	41	34	31	26	27	27	26	24	30	27	32

4. 浅川：鶴巻橋～大和田橋

調査：榛沢

1990年 月/日	1/14	2/22	3/23	4/19	5/22	6/20	7/24	8/24	9/28	10/22	12/2	12/24
開始時:分	8:00	7:30	7:40	7:30	7:40	7:20	7:30	7:00	7:30	7:30	7:40	7:40
終了時:分	1100	1045	1050	1040	9:50	1015	9:30	9:20	9:40	9:40	1000	1010
天候	晴	晴	晴	曇	晴	晴	薄曇	晴	晴	薄曇	晴	晴
調査担当者	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢	榛沢
040 カワウ					2	3	4		1	5	4	2
052 ゴイサギ	1				2	4	2	5				
054 ササゴイ												
057 ダイサギ		1	1						1			1
059 コサギ	8	5	6	8	1	1	1	4	5	6	9	6
087 マガモ	4	3	6									
088 カルガモ	127	135	132	73	50	148	189	68	90	78	108	113
089 コガモ	192	93	70	115					6	72	53	52
093 ヒドリガモ	13	6	28								14	17
095 オナガガモ	182	87								1	18	84
120 トビ	2			1	1			1	2	1	2	2
149 コジュケイ			1			1						
151 キジ			1	4	5	2	2	1	1			
176 コチドリ					2	2						
177 イカルチドリ		3		2								3
217 キアシシギ					1							
218 イソシギ			1	2	1	2						
245 ユリカモメ	189	154	82	76						9	120	125
246 セグロカモメ			1									
296 キジバト	27	18	21	19	11	10	8	16	14		13	12
326 カワセミ	1											
344 ヒバリ		3	5	4	3	1						
347 ツバメ				50	40	40	38	18				
350 イワツバメ			10	45	35	50	45					
354 キセキレイ	1			2	1	1		1	1	1		1
355 ハクセキレイ	29	14	11	15		2	2	3	2	12	9	11
356 セグロセキレイ	16	17	9	11	5	5	5	12	7	16	13	10
363 タヒバリ	4	6	1								4	2

1990年 月/日	1/14	2/22	3/23	4/19	5/22	6/20	7/24	8/24	9/28	10/22	12/2	12/24
367 ヒヨドリ	19	21	22	8	17	5	13	17	5	5	14	13
369 モズ	4	3	1	3					1	3	3	2
387 ジョウビタキ	6	6	2								2	1
405 ツグミ	41	42	24	21							3	8
410 ウグイス	2	1		3	2							
416 オオヨシキリ					5	9						
425 セッカ				3	4	2	2	1				
441 シジュウカラ	4	8	5	5	8	3		5	4		2	
449 ホオジロ	29	32	6	7							3	9
455 カシラダカ				3								
461 アオジ	5	3	2	2								2
471 カワラヒワ	366	185	30	20	7	8	18	32	23	7	25	35
488 スズメ	700	250	300	300	200	200	250	200	100	200	300	200
493 ムクドリ	174	80	105	91	65	33		35	13	16	60	24
498 オナガ	6				5		5	3	6			
503 ハシボソガラス	4	9	9	7	7	7	6	7	11	8	7	4
504 ハシブトガラス	1	16	8	4	4	6	12	3	4	5	5	2
A アヒル			2	2	2	2	2					2
B ドバト	57	63	52	36	45	35	42	40	62	85	87	60
K ベニスズメ												5
種類合計	30	28	31	31	28	26	19	20	21	18	24	29

5. 浅川：大和田橋～長沼橋

調査：斉藤

1990年 月/日	1/14	2/18	3/18	4/15	5/13	6/28	7/08	8/13	9/22	10/10	11/11	12/16
開始日時(前)	7:45	7:00	7:00	6:40	7:00	6:30	6:00	7:00	6:44	7:50	7:35	7:30
終了日時(後)	11:20	10:50	10:15	9:30	9:40	9:30	9:20	9:31	9:35	10:30	10:40	10:00
天気	曇	晴	曇	曇	曇	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇
040 カワウ		300	28	1							5	9
052 ゴイサギ	1	1		1	1	4	7	12	11	2	1	1
054 ササゴイ						1		2		1		
057 ダイサギ	5	8	6							1	4	15
059 コサギ	8	9	4	2	3	1	6	12	9	11	8	18
062 アオサギ		2								2		1
069 クロトキ			1									1
086 オシドリ							1					
088 カルガモ	51	60	83	108	106		135	180	94	44	53	54
089 コガモ	227	233	121	205	3				45	32	65	81
091 ヨシガモ		1										
093 ヒドリガモ	128	95	85	6							62	85
095 オナガガモ	158	98	11								16	30
097 ハシビロガモ	17	12	22	2							11	1
115 ミコアイサ	3	10	2									

浅川：大和田橋～長沼橋

(続き)

1990年 月/日	1/14	2/18	3/18	4/15	5/13	6/28	7/08	8/13	9/22	10/10	11/11	12/16
120 トビ	2	1	1				1	1		2	2	2
141 ハヤブサ		1	1									
145 チョウゲンボウ		1				2	3		4	1		
151 キジ		2		5	6			3		4	1	
160 クイナ			1									
176 コチドリ			3	11	7	2	2					
177 イカルチドリ	4	7	6	2	4	2	2	5	9	5	19	10
214 クサシギ										1		1
217 キアシシギ								4				
218 イソシギ	4	6	1	6	2	5	6	4	6	4	4	3
230 タシギ	3	1										2
245 ユリカモメ	148	185	51	28							112	245
246 セグロカモメ	4	2	2									1
296 キジバト	42	42	42	34	45	27	28	19	31	24	14	18
319 ヒメアマツバメ										1		
326 カワセミ	1	2	2	1			1	2	2		1	1
339 コゲラ						1					1	2
344 ヒバリ	7	7	3	3	8	5	3					1
347 ツバメ			2	35	50	69	90	35		4		
350 イワツバメ			3	17	22	22	42					
354 キセキレイ	5	2	1		1		1			1	1	2
355 ハクセキレイ	21	8	14	8	5		19	4	8	14	23	28
356 セグロセキレイ	15	9	12	4	4		6	3	10	10	11	17
363 タヒバリ	24	14	22	3							6	42
367 ヒヨドリ	67	12	19	33	14	20	15	9	12	7	23	30
369 モズ	3	3	5	2					3	6	4	5
387 ジョウビタキ	8	4	3								5	5
405 ツグミ	58	52	47	45								40
410 ウグイス	1						1			1		1
415 コヨシキリ						1						
416 オオヨシキリ					1	2	3	2				
425 セッカ				11	8	3	4	1				
441 シジュウカラ	6	4	6		2		6			6	11	9
449 ホオジロ	85	28	52								9	14
455 カシラダカ	37	35	20	5							15	25
461 アオジ	15	5	5	9							2	9
471 カワラヒワ	75	36	21			13	25	12	25	26	43	24
485 イカル		10							10			
486 シメ	2										2	
488 スズメ	200	180	200	200	170	120	190	150	200	150	120	100
493 ムクドリ	58	61	58	28	19	45	32	55	240	22	3	178
498 オナガ	5	5		2		5	7	5	5			
503 ハシボソガラス	6	8	9	7	6	15	11	7	10	21	12	12
504 ハシブトガラス	9	10	15	14	10	8	13	8	12	27	21	15

1990年 月/日	1/14	2/18	3/18	4/15	5/13	6/28	7/08	8/13	9/22	10/10	11/11	12/16
A アヒル	2						1		5	4	4	
B ドバト	61	35	35	32	25	25	34	35	40	24	23	23
C セキセイインコ										1		
種類合計	40	44	41	32	24	23	30	24	22	31	36	41

6. 浅川：長沼橋～一番橋

調査：門口・馬場

1990年 月/日 開始時:分 終了時:分 天気 (前後) 調査担当者	1/21 8:30 1300 晴 門口	2/24 8:00 1200 晴 門口	3/24 7:00 1050 晴 門口	4/15 7:30 1100 曇雨 門口	5/12 7:30 1200 曇 門口	6/09 7:30 1100 曇雨 門口	7/07 6:25 1030 曇 門口	8/19 6:00 1000 晴 門口	9/22 6:30 9:20 晴 門馬	10/14 6:30 1000 晴 門探	11/10 7:00 1040 晴 門馬	12/24 7:30 1100 晴 門馬
005 カイツブリ	2	1										
040 カワウ		300	4	2								1
052 ゴイサギ	1	1				5	6	1	13		3	1
054 ササゴイ						2						
057 ダイサギ	5	1	1			1				2	3	2
059 コサギ	8	6	4	4	1	1	1	6		6	15	6
062 アオサギ	1		1								1	
069 クロトキ	1											
087 マガモ				2							2	
088 カルガモ	98	61	83	52	55	66	178	39	55	88	113	28
089 コガモ	148	130	144	122					18	11	49	58
アメリカコガモ			1	1								
092 オカヨシガモ		3										
093 ヒドリガモ	119	87	74	11						21	58	38
094 アメリカヒドリ	1	1	1									
095 オナガガモ	97	53								5	20	42
096 シマアジ									2			
097 ハシビロガモ	13	9	5								16	6
115 ミコアイサ	23	7										11
120 トビ	2	1	1		1					1		2
145 チョウゲンボウ										1		
149 コジュケイ		1	2	1	1	1					1	
151 キジ		2	2	1	5	2	1	4			1	
176 コチドリ				1		1	2					
177 イカルチドリ	3	2	8	4	1	3	2	1	5	2		1
196 ハマシギ	7											
217 キアシシギ					12							
218 イソシギ	1	2		3	11	8	5	2	3	5	2	1
230 タシギ	1				3							
245 ユリカモメ	135	34	40	4	4						26	62

浅川：長沼橋～一番橋

(続き)

1990年 月/日	1/21	2/24	3/24	4/15	5/12	6/09	7/07	8/19	9/22	10/14	11/10	12/24
246 セグロカモメ		1	1								1	1
251 ウミネコ	1											
296 キジバト	24	11	12	10	12	5	9	17	25	3	7	5
326 カワセミ		3	1		1			1		1		3
339 コゲラ	1				5		3		2			
344 ヒバリ	2	12	8	14	10	4	6			4	5	
346 ショウドウツバメ										5		
347 ツバメ				12	9	22	30	14	4	1		
349 コシアカツバメ							1		4	25		
350 イワツバメ				5	8	10	3	4	1			
354 キセキレイ	1		1	2	2	3	1	2	4	8	2	
355 ハクセキレイ	9	6	5	2				3	2	16	27	16
356 セグロセキレイ	15	9	4	2	4	3	6	11	10	9	21	4
363 タヒバリ	16	4	10	3							25	10
367 ヒヨドリ	21	5	12	160	8	15	13	11	5	128	8	6
369 モズ	2	6	3	2	1	1		1	5	7	6	4
387 ジョウビタキ	5	1	1								4	1
388 ノビタキ										1		
405 ツグミ	23	19	27	5								12
410 ウグイス			1		1							
416 オオヨシキリ					1	3		1				
425 セッカ				5	7	5		1				
441 シジュウカラ	5	4	3	4	4		2	8	3		2	
444 メジロ	2		2			1		1				
449 ホオジロ	18	9	3	2	2	1					1	6
455 カシラダカ	8	2	4									10
461 アオジ		5	2	2							2	4
471 カワラヒワ	35	55	12	6	4	7	20	5	24	20	19	8
486 シメ			1									1
488 スズメ	165	112	55	105	88	110	110	130	170	47	105	350
493 ムクドリ	86	54	53	12	20	166	24	10	76	6	60	15
496 カケス										1		
498 オナガ			2	2	2	2	1	14	5			
503 ハシボソガラス	11	8	8	10	3	16	11	12	12	10	18	40
504 ハシブトガラス	4	1	4	2	4	2	5	4	2	2	2	2
A アヒル					2		2			1	2	1
B ドバト	59	20	32	22	28	16	58	73	40	6	29	131
種類合計	41	40	41	35	33	29	26	26	25	30	34	35

7. 浅川：一番橋～多摩川合流点

調査：阿江

1990年 開始 終了 天気	月/日 時:分 時:分 (前後)	1/15 1330 1600 晴	2/10 1100 1400 曇	3/18 1100 1300 曇雨	4/15 9:30 1130 曇	5/20 1400 1530 晴	6/09 9:30 1200 曇雨	7/01 9:30 1200 晴	8/25 1000 1130 晴	9/22 9:30 1100 晴	10/27 8:00 1100 晴	11/23 1000 1230 晴	12/8 8:30 1130 晴
040	カワウ		4	1									
057	ダイサギ												1
059	コサギ	7	1	2					5	5	6	7	
062	アオサギ		1										
069	クロトキ		3		1		2			1	2	1	
087	マガモ	15	1									8	2
088	カルガモ	415	240	265	165	93	30	67	1	140	121	140	270
089	コガモ	280	265	310	110						153	142	249
093	ヒドリガモ	40	148	115							33	67	42
095	オナガガモ	525	448	400							3	135	158
097	ハシビロガモ	12	18	25								3	2
104	キンクロハジロ	4	6									1	1
115	ミコアイサ	7	8										2
120	トビ	2	1				1				1	1	
145	チョウゲンボウ		1								1		
151	キジ	2		1	3	1	5	2		1	1		1
177	イカルチドリ												2
196	ハマシギ	3				65							
218	イソシギ	6						4				1	2
245	ユリカモメ	186	9	20	23						15	3	13
296	キジバト	18	15	10	17	2	2	2	7	2		2	2
344	ヒバリ		5		10	2	4	1					
347	ツバメ				17	25	30	35	18				
350	イワツバメ						5						
354	キセキレイ	18									3		3
355	ハクセキレイ	32	7	16	2	1	3				15	10	22
356	セグロセキレイ	33	8	12	1	3					9	16	6
363	タヒバリ	5	3	5							1	1	
367	ヒヨドリ	27	17	30	7	4	3	2	7	3	9	3	17
369	モズ	3	1							1			
387	ジョウビタキ		3	1									
405	ツグミ	16	18	7	6								
410	ウグイス		2										
416	オオヨシキリ						2	1					
425	セッカ						4	1					
441	シジュウカラ	6		5	3							1	1
449	ホオジロ	37	41		3		4	3	1			2	21
455	カシラダカ	12	7										
461	アオジ												1
471	カワラヒワ	240	134	30	45	2	15	6	4	12	9	25	14
488	スズメ	303	228	320	145	15	25	55	122	75	42	67	85

浅川：一番橋～多摩川合流点

(続き)

1990年 月/日	1/15	2/10	3/18	4/15	5/20	6/09	7/01	8/25	9/22	10/27	11/23	12/8
493 ムクドリ	31	42	19	47	4	25	16	12		4	10	15
498 オナガ											5	
503 ハシボソガラス	12	28	20	32	4	3	12	15	5	7	5	14
504 ハシブトガラス	5	14	15	3	2	5	3		4	2	3	8
B ドバト	52	16	20	135	12	8	17	15	3	5	12	18
種類合計	31	33	23	20	15	19	16	11	12	21	26	27

8. 小宮公園

調査: 藤江・田中

1990年 月/日 開始 終了 天 時:分 気 (前後)	1/23 7:30 曇	2/17 7:30 曇	3/17 7:55 晴	4/22 8:10 晴	5/30 6:10 晴	6/30 8:00 曇	7/25 6:50 9:00	8/25 5:30 7:10 晴	10/3 7:00 9:25 晴	10/28 7:05 9:05 晴	12/4 7:30 10:30	12/24 7:45 10:40 晴
059 コサギ	1							1				
088 カルガモ		8		4	5							
089 コガモ		4										
120 トビ			1	1								1
149 コジュケイ			3	1	1	1	1	1	1		5	
151 キジ			1	4	2	1						
230 タシギ				1								
296 キジバト	25	6	7	6		7	3	6	3	14	16	11
331 アオゲラ						1				1		
339 コゲラ	2	1	4	2	3	3			2	3	2	3
344 ヒバリ		3	2	4	1	1			2			
347 ツバメ				2		12	6	2				
350 イワツバメ					4		2					1
355 ハクセキレイ										1		
356 セグロセキレイ					3							
367 ヒヨドリ	13	12	8	67	8	8	108	8	14	21	28	22
369 モズ		2							1	12	3	2
386 ルリビタキ												1
387 ジョウビタキ	1	2								3	2	1
402 シロハラ	1			2								
405 ツグミ	8	13	17	18							6	3
410 ウグイス				1		1						
438 コガラ								1				
439 ヒガラ						1						
440 ヤマガラ										3		
441 シジュウカラ	37	20	24	5	9	13	7		21	12	27	16
444 メジロ	3					1					4	
449 ホオジロ		1	6	2		1		1		3		2

1990年 月/日	1/23	2/17	3/17	4/22	5/30	6/30	7/25	8/25	10/3	1028	12/4	1224
455 カシラダカ	270	105	140								15	6
456 ミヤマホオジロ												1
461 アオジ	1		2								1	1
471 カワラヒワ	105	100		4		5		1		7	25	49
485 イカル								1				1
486 シメ	3		5									
488 スズメ	80	10	50	13	31	21	13	57	15	4	60	24
493 ムクドリ	18	1	20	14	4	6		2			32	15
496 カケス				2								
498 オナガ	1				1			8	1		20	20
503 ハシボソガラス	3	8	9	7	1		9	6	5	1	1	4
504 ハシブトガラス	4	15	13	2	4	6		8	26	3	2	4
B ドバト							2	10	2	1		
種類合計	18	17	17	21	14	17	10	15	12	15	17	21

9. 片倉城址公園

調査:平沢

1990年 月/日	1/21	2/17	3/17	4/28	5/20	6/17	7/22	8/25	9/23	1021	1123	1223
開始時:分	7:50	8:00	7:30	7:00	1000	7:30	6:10	6:00	6:00	6:00	7:30	7:30
終了時:分	1000	1030	1000	9:30	1100	1000	8:00	8:00	8:00	8:00	9:00	1000
天気 (前後)	晴	晴	晴曇	晴	曇晴	晴	晴	曇晴	晴	晴	晴	晴
052 ゴイサギ									1		1	1
059 コサギ	1	2	1	1				1	2	1	2	2
088 カルガモ	24	24	8	3	2	5	10	8	11	12	13	18
089 コガモ	5	6									2	2
095 オナガガモ	2	4										
120 トビ		1		1							1	
145 チョウゲンボウ	1											
149 コジュケイ	2	2	2	3	3	2	1	1	1	1	2	2
151 キジ				1	2	1						
245 ユリカモメ												6
296 キジバト	6	6	4	9	6	6	7	5	5	6	8	6
326 カワセミ	1	1		1							1	2
331 アオゲラ		1	1	1				2				
339 コゲラ	2	4	5	3	4	3	2	3	2	2	1	3
344 ヒバリ			1	2	2	2						
347 ツバメ				17	12	14	20	12				
350 イワツバメ						3						
354 キセキレイ	1	1	1			1	2		3	1	2	1
355 ハクセキレイ	2	2	2			1					1	2
356 セグロセキレイ	4	5	3	2	2	2		2	2	4	4	4
363 タヒバリ	2	2	1								1	1

片倉城址公園

(続き)

1990年 月/日	1/21	2/17	3/17	4/28	5/20	6/17	7/22	8/25	9/23	10/21	11/23	12/23
367 ヒヨドリ	12	13	16	38	23	28	29	28	16	28	25	25
369 モズ	1	2	1	4	1				1	5	3	1
386 ルリビタキ	1											
387 ジョウビタキ	1	1	3								2	2
402 シロハラ	1											
405 ツグミス	9	11	22	4							3	6
410 ウグイス				2							3	3
435 エナガ		12	8									
440 ヤマガラ	4	12										
441 シジュウカラ	15	11	11	18	8	20	23	30	20	25	20	13
444 メジロ	4	4	4	6	2	2	2	30	24	15	2	15
449 ホオジロ	8	19	9				1				6	3
455 カシラダカ	7	8	5								5	
461 アオジ	12	5	10	4							7	2
471 カワラヒワ	16	15	12	6	7	6	6		6	60	20	30
485 イカル								2	1			
486 シメ	2										1	
488 スズメ	25	18	20	25	35	35	35	35	35	20	30	35
493 ムクドリ	17	23	14	25	25	60	18			20	10	8
496 カケス				2								
498 オナガ	13	16		12		8		5			4	5
503 ハシボソガラス	7	12	8	18	12	12	8	6	8	19	8	8
504 ハシブトガラス	2		4	4	2	6	2	2	3	7	5	3
A アヒル	3	3	3	4	4	2	4	4	4	4	4	3
B ドバト	2	3	2		6	10	5	4	12			4
種類合計	34	32	28	27	19	22	17	18	19	17	31	30

10. 多摩川：滝山城址下

調査：門口・太田・三好・馬場

1990年 月/日	1/06	2/25	3/26	4/28	5/22	6/16	7/27	8/25	9/29	10/26	11/27	12/15
開始 時:分	9:00	6:30	8:10	7:20	6:20	6:30	6:20	6:30	7:50	7:10	7:30	7:30
終了 時:分	11:30	8:00	10:10	10:00	9:00	9:00	9:40	8:30	11:00	9:40	10:30	10:40
天気 (前後)	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	小雨	晴	晴	晴
調査担当者	門口	太田	太田	門口	三好	門口	三好	門馬	三好	門馬	三好	門口
005 カイツブリ	7	3	2	4	4	1	6	5	3	4	16	13
040 カワウ	6	23										2
052 ゴイサギ						1	3					
054 ササゴイ						1	1	4				
057 ダイサギ	1	1					1	1	1		1	1
059 コサギ	2			1	2	2	7	3	8	8	2	7
062 アオサギ	5	5	1		1		1	1	3	5	8	5
087 マガモ			2							2		

1990年 月/日	1/06	2/25	3/26	4/28	5/22	6/16	7/27	8/25	9/29	10/26	11/27	12/15
088 カルガモ	24	3	4	23	25	19	65	18	13	18	40	6
089 コガモ	145	50	76	66						26	133	32
091 ヨシガモ		2								4		
092 オカヨシガモ	18	14	25								6	2
093 ヒドリガモ	18	15	4	6							16	5
094 アメリカヒドリ	1										1	
095 オナガガモ	52										12	5
097 ハシビロガモ	5	12	10								4	
104 キンクロハジロ												1
115 ミコアイサ	8											
120 トビ	1		3	1	3	2	1	1			1	1
123 オオタカ									1		1	
145 チョウゲンボウ											1	1
149 コジュケイ		1	2	4	3	2	6	1	2	1	1	1
151 キジ				8	5	3				1	1	
167 バン						5						
176 コチドリ				3	3	2	1					
177 イカルチドリ	6		5	2	3	7	2	7				
196 ハマシギ	120	175	26	84							10	
214 クサシギ										4		
217 キアシシギ					10		6	2				
218 イソシギ	3	7	1	4	10	11	4	7	3	6	3	4
245 ユリカモメ	37	6	3	23							22	23
246 セグロカモメ								1		1	1	1
251 ウミネコ			1									
296 キジバト	7			8	12	6	13	3	26	3	4	8
302 カッコウ					2	1			1			
320 アマツバメ									2			
326 カワセミ					1	2		1	1	2	2	2
330 アリスイ									1			
339 コゲラ				1								1
344 ヒバリ	1		1	4	8	5	2			1	6	
347 ツバメ			3	4	20	6	80	10	30			
349 コシアカツバメ									3			
350 イワツバメ				5		2						
354 キセキレイ				2		4	13	2	1	2		1
355 ハクセキレイ	11	1	6	1	2	2	3	4	2	8	9	7
356 セグロセキレイ	10	9	10	5	11	6	8	10	12	10	23	5
363 タヒバリ	1	5								1	35	1
367 ヒヨドリ	3			9	22	6	20	10	36	10	21	15
369 モズ	3			2	2			1	7	10	4	3
387 ジョウビタキ										2	1	1
405 ツグミ	11	33	1	5							13	10
410 ウグイス				9	3	7	2				2	1
416 オオヨシキリ				2	11	16						

多摩川：滝山城址下

(続き)

1990年 月/日	1/06	2/25	3/26	4/28	5/22	6/16	7/27	8/25	9/29	10/26	11/27	12/15
425 セッカ				1	5	9	4	5	2			
441 シジュウカラ	8			7	2	2		5	6	2	4	2
449 ホオジロ	4	3	3	9	22	5	8	4	8	1	18	6
455 カシラダカ	7										4	16
461 アオジ	11		2	4						6	13	11
471 カワラヒワ	95	18		2	3	2	6		10	27	40	48
486 シメ	3										4	1
488 スズメ	66	10	5	39	25	31	60	20	100	50	30	110
490 コムクドリ							2					
493 ムクドリ	7	1		6	50	44	170	80	90		31	2
498 オナガ	8					3		1				
503 ハシボンガラス	11	4	2	9	13	11	30	10	27	10	22	53
504 ハシブトガラス	15	3		4	4	4		5	10	7	8	12
A アヒル	6			4	4	4	5	4	5	6	5	5
B ドバト	47			10	3	5	3	55	3	30	5	5
種類合計	39	24	24	37	32	35	30	30	30	31	42	41

以上

八王子市の鳥制定の見通し有望!

——市民に親しまれる鳥は何がよいでしょうか——

去る1月の総会で決議した「市の鳥」制定について、翌14日、当会の藤江、三好の両会員が市を訪問、波多野市長、山田市議会議長に面会し要望書を手渡しました。両氏共、大変好意的に理解をしめされました。その後、市側は「市の鳥」制定に前向きに対処、検討したいとして次年度(平成3年度)の市の事業計画に盛り込まれる公算が大きくなりました。

当会としては、先ず会員を対象にアンケートにより、「市の鳥」は何がよいかなど調査することになりました。

会員の皆さんの積極的参加、協力をお願い申し上げます。



カウントデータのパソコン処理について。



毎月の定期カウントのデータをパソコンに入力してみた。使用したソフトは、表計算ソフトで一番良く使われているLOTUS（ロータス）1-2-3である。

最近のワープロにもいろいろな表計算やカルク等が内蔵されており機能的にもパソコンに近くなっているが、データ処理、分析については、パソコンの世界である。

このLOTUS1-2-3も表計算機能はもちろんのことグラフやデータベース機能があり、統合型ソフトとして全世界に200万人のユーザーがいると言われている。

表計算機能と言うのは、1枚の大きなシート（表）に色々な計算式を組み込んでおき、数値を入れると自動的に合計値や平均値などが計算されるものである。

グラフ機能は、円グラフを始めとして8種類のグラフがシートから簡単に作成できる。

データベース処理においても、50音順や昇順、降順など32条件による検索や3条件同時ソートができる。

今回のデータ処理は、毎月の定期カウント表をベースに浅川区域について3枚のシートを作り、合計としてもう1枚のシートに自動的に集計されるようにしたものである。

- シート1 松枝橋から鶴巻橋間のデータ
- シート2 浅川橋から大和田橋間のデータ
- シート3 大和田橋から長沼橋間のデータ
- シート4 上記データの合計

データは、「かわせみ No.4」より平成元年1月から12月までの定期カウントの数値を使った。

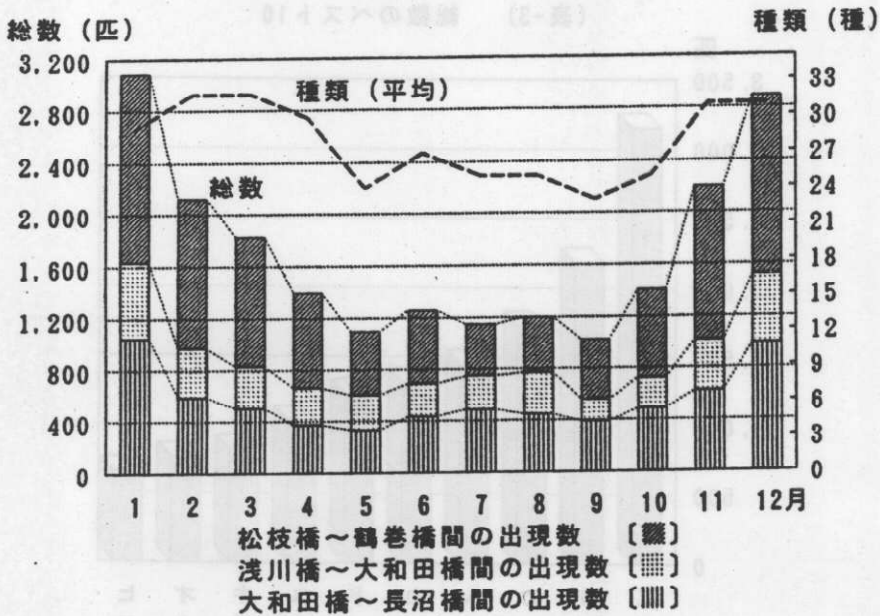
(表-1) は、3区域について月ごとの総数と種類数を示しており、種類数は3区域の平均値とした。

表を見ると夏期に比べ冬期の方が種類、総数共多く、区域別では松枝橋から鶴巻橋の間が多く確認されていることが分かる。

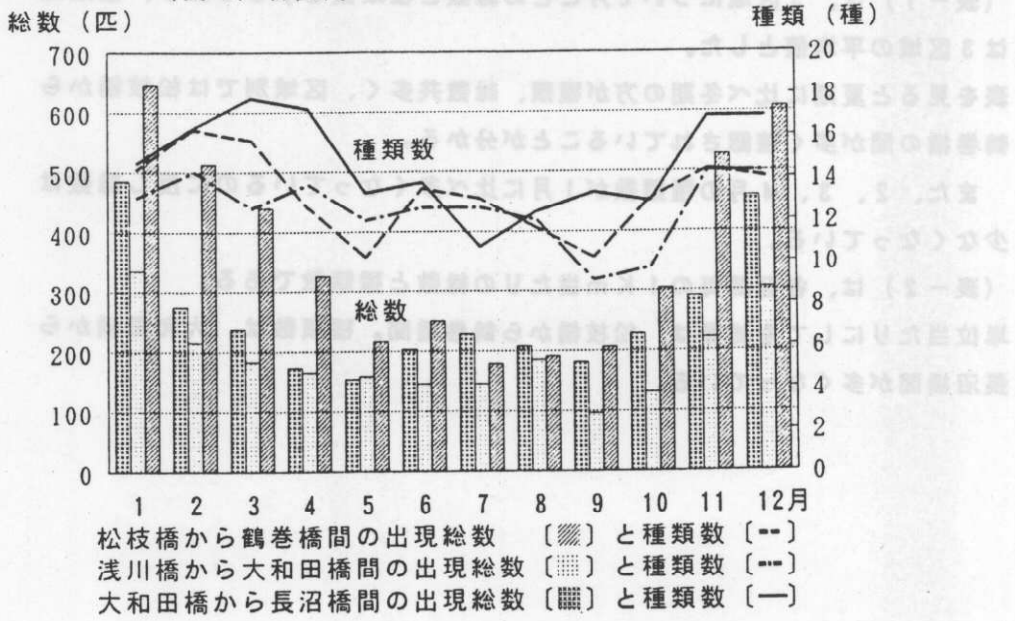
また、2、3、4月の種類数が1月に比べ多くなっているのに反し総数は少なくなっている。

(表-2) は、各区間毎の1Km当たりの総数と種類数である。単位当たりにしても総数は、松枝橋から鶴巻橋間。種類数は、大和田橋から長沼橋間が多くなっている。

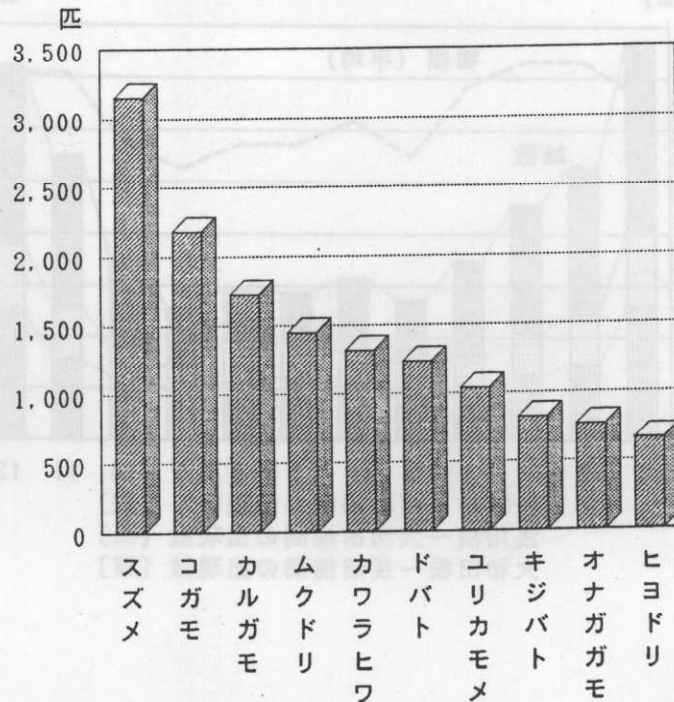
(表-1) 区間毎の総数と種類数



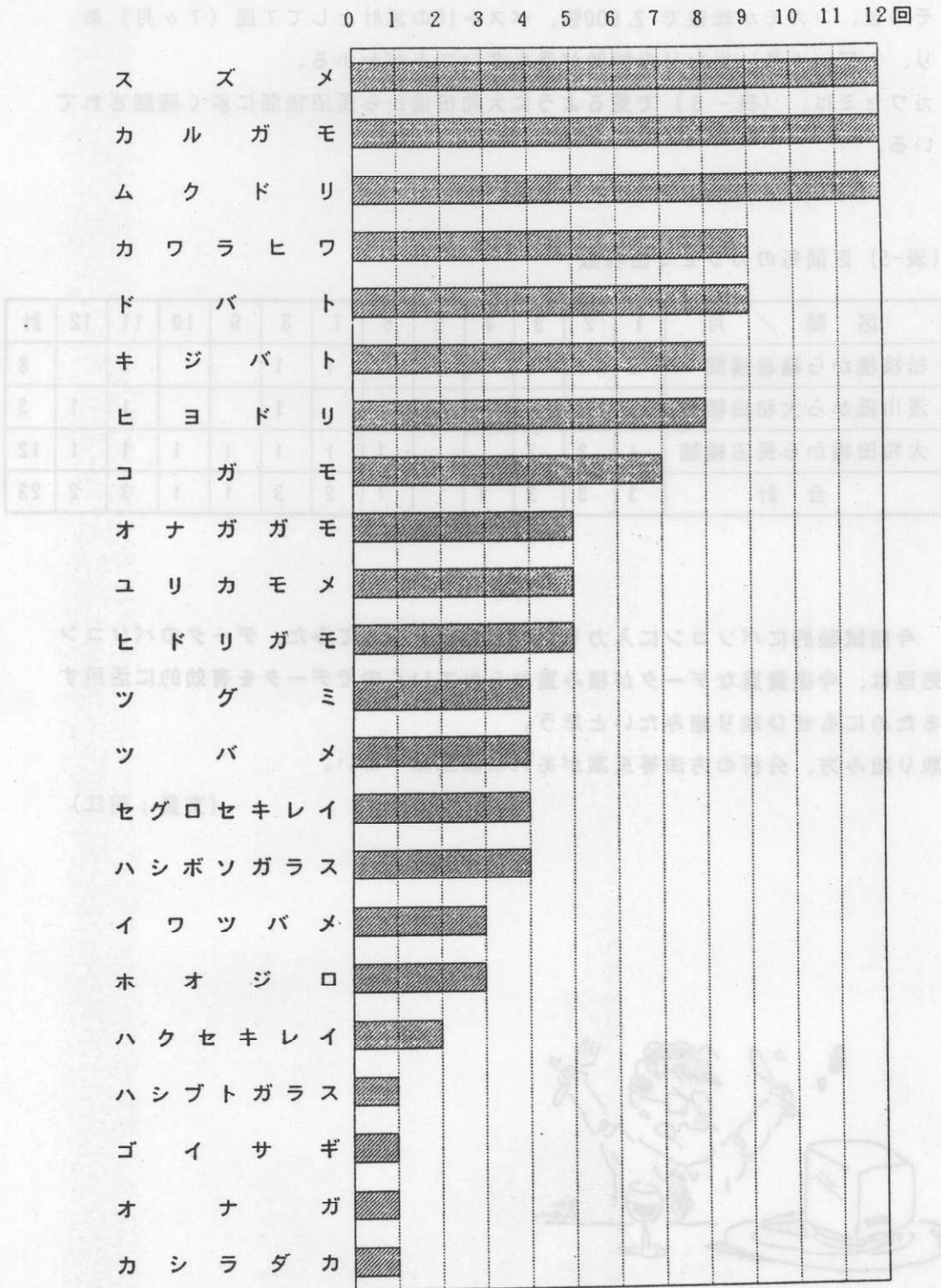
(表-2) 各区间 1 Km 当たりの総数と種類数



(表-3) 総数のベスト10



(表-4) 各月のベスト10累計



(表-3、4)は、3区域の合計値をもとに作成したものである。
 スズメ、カルガモ、ムクドリは、何処でもいつでも見れる鳥のようである。
 その他、コガモが総数で2,000強、ベスト10の累計として7回(7ヶ月)あり、1回(1月)当たりの総数が最も多いことがわかる。
 カワセミは、(表-5)で見るように大和田橋から長沼橋間に多く確認されている。

(表-5) 区間毎のカワセミ出現数

区 間 / 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
松枝橋から鶴巻橋間	2	1	1	1			1	1			1		8
浅川橋から大和田橋間								1			1	1	3
大和田橋から長沼橋間	1	2	2			1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	3	3	3	1		1	2	3	1	1	3	2	23

今回試験的にパソコンに入力し簡単な分析を行ってみた、データのパソコン処理は、今後貴重なデータが積み重ねられていく中でデータを有効的に活用するためにもぜひ取り組みたいと思う。

取り組み方、分析の方法等良案があれば御連絡下さい。

(文責：阿江)



鳥信 鳥信

鳥信



: 1990. 7~12 :

1. 冬鳥の初認

(1) マガモ				
10.27	1羽	浅川 (浅川橋=晓橋)	粕谷和夫	
10.29	7羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三好恒雄	
11. 2	♂1 ♀1	" (晓橋下流黒須マンション前)	榎沢 努	
11. 3	3羽	南浅川 (水無瀬橋上流)	福島弥四郎	
(2) コガモ				
8.28	3羽	浅川 (中央線鉄橋上流)	斎藤高昭	
9. 8	1羽	" (晓橋上流)	粕 谷	
9. 9	1羽	" (陵北大橋下流)	粕谷、他	
9.18	3羽	" (浅川大橋=大和田橋)	小山万太郎	
9.24	6羽	湯殿川 (殿田橋=稻荷橋)	粕 谷	
9.28	6羽	浅川 (晓橋上流)	榎 沢	
(3) シマアジ				
9.22	2羽	浅川 (長沼橋=一番橋)	門口一雄、馬場 裕	
9.25	2羽	" (一番橋上流300m)	榎沢、斎藤	
(4) ヒドリガモ				
10.27	33羽	浅川 (一番橋=多摩川合流)	阿江範彦	
(5) オナガガモ				
10.11	♂1. ♀3	浅川 (浅川大橋郵便局横)	榎 沢	
10.14		" (長沼橋=一番橋)	探 鳥 会	
10.27	3羽	" (一番橋=多摩川合流)	阿 江	
10.27	3羽	" (浅川橋=晓橋)	粕 谷	
(6) ハシビロガモ				
10.28	1羽	浅川 (萩原橋上流)	福 島	
12.16	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	斎 藤	
12.24	6羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場	
(7) クサシギ				
10.10	1羽	浅川 (大和田橋=長沼橋)	斎 藤	
12.16	1羽	" (" = ")	斎 藤	
(8) ユリカモメ				
10.22	9羽	浅川 (鶴巻橋=大和田橋)	榎 沢	
10.23	9羽	" (浅川大橋=大和田橋)	榎沢、貴家やえ子	

(8)	ユリカモメ (続き)				
	10.23	20羽	浅川 (暁橋上流側・12:00 頃)	三	好
	10.25	8羽	" (八高線下)	小	山
	10.27	15羽	" (一番橋=多摩川合流)	阿	江
	10.27	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕	谷
(9)	タヒバリ				
	10.22	2羽	浅川 (浅川大橋=暁橋)	粕	谷
	10.27	1羽	" (一番橋=多摩川合流)	阿	江
	10.29	2羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三	好
	11. 4	2羽	" (浅川大橋=大和田橋)	斎	藤
	11.11	1羽	川口川 (第九小学校裏)	清水	茂
(10)	モズの高鳴き				
	9. 9	9羽	浅川 (陵北大橋=松枝橋)	粕谷、他	
	10. 8	1羽	" (新浅川橋下)	小	山
	10.11	1羽	" (暁橋上流10mの木)	榎	沢
(11)	ジヨウビタキ				
	10.19	♂1羽	浅川 (浅川大橋=大和田橋)	小	山
	10.22	1羽	" (" = ")	斎	藤
	10.27	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕	谷
	10.28	1羽	" (暁橋下流)	小山、福島	
	10.28	1羽	南浅川 (両界橋下流 100m)	川上	憲
	10.28	3羽	小宮公園	藤江 豊、田中英吉	
(12)	ツグミ				
	10.21	1羽	浅川 (清川町グラウンド)	福	島
	11. 6	1羽	多摩御陵付近	清	水
	11.12	1羽	浅川 (陵北大橋=松枝橋)	粕谷、河村夫妻	
	11.16	1羽	八王子市大和田6丁目、柿畑	小	山
(13)	ウグイスの地鳴き				
	11.11	1羽	川口川 (川口川橋付近)	清	水
(14)	カシラダカ				
	11.10	2羽	浅川 (浅川橋=暁橋)	粕	谷
(15)	アオジ				
	11. 2	10羽	浅川 (浅川橋=暁橋)	粕	谷
(16)	キンクロハジロ	11.23, 12.8. 各1羽.	日野市民プール	阿	江
(17)	ミコアイサ				
	12. 8	♂2羽	浅川 (高幡橋上流)	阿	江
	12.24	11羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場	

2. 夏鳥及び夏鳥の終認

- | | | | | |
|-----|-----------|--------|------------------------|------|
| (1) | ホ ト ト ギ ス | | | |
| | 7. 7 | 声のみ | 北浅川 (大沢橋=陵北大橋) | 今井達郎 |
| (2) | サ サ ゴ イ | (終認) | | |
| | 10.10 | 1羽 | 浅川 (長沼橋上流) | 斎藤 |
| | 10.28 | 1羽 | 南浅川 (白山橋上流100m幼鳥、写真有り) | 川上 |
| (3) | ツ バ メ | (終認) | | |
| | 9.11 | 2羽 | 北浅川 (下恩方) | 今井 |
| | 9.30 | 数羽 | 浅川 (萩原橋付近) | 福島 |
| | 10.10 | 4羽 | " (中央線鉄橋=長沼橋) | 斎藤 |
| (4) | カ ッ コ | ウ [若鳥] | | |
| | 9.29 | 1羽 | 多摩川 (滝山城跡下) | 三好 |

3. 通 過

- | | | | | |
|-----|-------|-------|----------------------------------|-----|
| (1) | ム ナ グ | ロ | | |
| | 8.26 | 2羽 | 浅川 (中央線鉄橋下) | 探鳥会 |
| | 9.28 | 1羽 | " (鶴巻橋上流100m) | 三好 |
| (2) | キ ア シ | シ ギ | | |
| | 8.13 | 4羽 | 浅川 (大和田橋=長沼橋) | 斎藤 |
| | 8.15 | 2羽 | " (萩原橋上流) | 福島 |
| | 8.19 | 2羽 | " (長沼橋=一番橋) | 門口 |
| | 8.26 | 1羽 | " (大和田橋=長沼橋) | 探鳥会 |
| (3) | シ ヨ ウ | ド ウ ツ | バ メ | |
| | 10.14 | 5羽 | 浅川 (長沼橋=一番橋) | 探鳥会 |
| (4) | ノ ビ タ | キ | | |
| | 10.14 | 1羽 | 浅川 (長沼橋=一番橋) | 探鳥会 |
| (5) | キ ビ タ | キ | | |
| | 10.25 | ♂1羽 | 八王子市中野上町 | 清水 |
| (6) | コ ム ク | ド リ | | |
| | 9.16 | 1羽 | (八王子市大和田町6丁目、柿畑
ムドリ2羽に追われて去る) | 小山 |

4. 希少種 [浅川流域の]

- | | | | | |
|-----|-------|-----|-------------|---------|
| (1) | カ イ ツ | ブ リ | | |
| | 11.12 | 1羽 | 浅川 (陵北大橋下流) | 粕谷、河村夫妻 |

4. 希 少 種 (続き)

(2) カ ウ

11. 2	2羽	浅 川 (浅川橋=暁橋)	粕 谷
11. 4	26羽	" (浅川大橋=大和田橋)	齋 藤
11.11	5羽	" (大和田橋=長沼橋)	齋 藤
11.14	26羽	" (浅川大橋=大和田橋)	齋 藤
11.16	2羽	" (中央高速道橋=鶴巻橋)	齋 藤
11.18	2羽	" (浅川大橋=大和田橋)	齋 藤
11.18	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	探 鳥 会
12. 1	約100羽	" (浅川橋=暁橋)	棧沢、粕谷、田中
12. 8	60羽	" (")	棧沢、粕谷
12.16	9羽	" (大和田橋=長沼橋)	齋 藤
12.16	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕 谷
12.23	40羽	" (")	粕 谷
12.24	1羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
12.24	2羽	" (鶴巻橋=大和田橋)	棧 沢
12.30	3羽	" (浅川橋=浅川大橋)	粕 谷

(3) ゴ イ サ ギ

9. 5 1羽 (幼) (高尾街道の犬目駐在所近くの山本
商会の裏の竹藪〔近くに小川有り〕 清 水

(4) ダ イ サ ギ

8.11	1羽	浅 川 (陵北大橋=松枝橋)	粕 谷
9.28	1羽	" (鶴巻橋=大和田橋)	棧 沢
10.10	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	齋 藤
10.14	2羽	" (長沼橋=一番橋)	探 鳥 会
10.22	1羽	" (浅川橋下流)	粕 谷
11.10	3羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
11.10	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕 谷
11.11	4羽	" (大和田橋=長沼橋)	齋 藤
11.18	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	探 鳥 会
12. 8	5羽	" (浅川橋=暁橋)	粕 谷
12. 8	1羽	" (一番橋=多摩川合流)	阿 江
12. 9	15羽	" (大和田橋=長沼橋)	探 鳥 会
12.16	15羽	" (" = ")	齋 藤
12.23	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕 谷
12.24	2羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
12.24	1羽	" (鶴巻橋=大和田橋)	棧 沢

4. 希 少 種 (続 ぎ)

(5)	ア オ サ ギ			
	8. 26	1羽	浅 川 (大和田橋=長沼橋)	探 鳥 会
	10. 29	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
	11. 5	1羽	" (浅川大橋=大和田橋)	田 中
	11. 10	1羽	" (長沼橋=一番橋)	門 口、馬 場
	11. 24	1羽	" (浅川橋下)	粕 谷
	12. 8	1羽	" (")	粕 谷
	12. 9	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	探 鳥 会
	12. 27	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
(6)	オ シ ド リ			
	7. 8	1羽	浅 川 (長沼橋上流)	斎 藤
(7)	チ ョ ウ ゲ ン ボ ウ			
	9. 22	4羽 (2組)	浅 川 (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
	10. 10	1羽	浅 川 (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
	10. 14	1羽	" (長沼橋=一番橋)	探 鳥 会
	10. 27	1羽	" (一番橋=多摩川合流)	阿 江
	11. 12	1羽	" (陵北大橋=松枝橋)	粕 谷、河 村
	12. 9	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	探 鳥 会
(8)	セ グ ロ カ モ メ			
	11. 10	1羽	浅 川 (長沼橋=一番橋)	門 口、馬 場
	11. 18	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	探 鳥 会
	12. 16	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
	12. 24	1羽	" (長沼橋=一番橋)	門 口、馬 場
	12. 27	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
(9)	ヒ メ ア マ ツ バ メ			
	10. 10	1羽	浅 川 (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
(10)	ア リ ス イ			
	11. 12	1羽	浅 川 (陵北大橋下流)	粕 谷、河 村
(11)	タ シ ギ			
	12. 16	2羽	浅 川 (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
	12. 27	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
(12)	ア オ ゲ ラ			
	8. 25	2羽	片倉城跡公園	平 沢
	10. 28	1羽	小 宮 公園	藤 江、田 中
(13)	コ ゲ ラ			
	7. 7	1羽	浅 川 (長沼橋=一番橋)	門 口
	7. 14	1羽	" (暁橋付近)	粕 谷

4. 希 少 種 (続き)

(13) コ ゲ ラ (前頁より続き)

7.25	2羽	浅 川 (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
8.11	1羽	" (陵北大橋下流)	粕 谷
9.22	2羽	" (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
9.28	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
10..7	2羽	" (浅川大橋上流)	粕 谷
10.29	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
11.11	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	斎 藤
11.18	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	探 鳥 会
12. 4	1羽	" (松枝橋=鶴巻橋)	三 好 会
12. 9	1羽	" (大和田橋=長沼橋)	探 鳥 会
12.16	2羽	" (" = ")	斎 藤
12.30	1羽	" (浅川橋=暁橋)	粕 谷

(14) コシアカツバメ

7. 7	1羽	浅 川 (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
7.15	1羽	川口川 (仲田橋下. 上下)	三 好
9.22	4羽	浅 川 (長沼橋=一番橋)	門口、馬場
10.14	25羽	" (" = ")	探 鳥 会

(15) ミヤマホオジロ

12.24	1羽	小宮公園	藤江、田中
-------	----	------	-------

(16) カワガラス

10.29	1羽	浅 川 (鶴巻橋上流100m)	三 好
11.10	1羽	北浅川 (東大沢橋下流 30m)	今 井

(17) トラツグミ

11.18	鳴き声 (P.M 6:30)	八王子市北野台	平 沢
11.19	A.M 6:30前日と同じ場所, 1羽いたが 飛び立たれて確認できず		平 沢

(18) ルリビタキ

12.24	1羽	小宮公園	藤江、田中
-------	----	------	-------

(19) コヨシキリ

7.25	2羽	浅 川 (松枝橋=鶴巻橋)	三 好
------	----	---------------	-----

(20) ヤマガラ

10.28	3羽	小宮公園	藤江、田中
-------	----	------	-------

(21) イカル

8.19	数羽	浅 川 (浅川橋, 極楽寺)	粕 谷
10.15	2羽	" (")	粕 谷
10.22	2羽	" (")	粕 谷

4. 希少種(続き)

- (22) カケス
 10. 4 1羽 浅川(長沼橋=一番橋) 探鳥会
 10. 20 3羽 " (陵北大橋=松枝橋) 河村夫妻
- (23) マルガモ
 9. 23 1羽 川口川(山王橋=関守橋) 粕谷
- (24) ハッカチョウ
 10. 14 1羽 浅川(一番橋=多摩川合流) 探鳥会

5. 行 動

- (1) カルガモ
 11. 10 1組交尾 浅川(浅川橋下) 粕谷
- (2) ウグイス
 7. 8 1羽さえずり 浅川(長沼橋上流アカシヤの林の中) 斎藤
- (3) ムクドリ
 9. 15 4羽モビング 浅川(浅川橋~暁橋, トビ1羽を4羽でモビング) 粕谷
- (4) ドバト
 9. 15 1羽 八王子市大和田坂下(陸橋に突込んだか?歩道で死んでいた。外傷無し) 小山

6. 繁 殖

- (1) カルガモ
 ※ 会報カワセミ第5号(26ページ)の続き。 小山

No	推定フ化月日	ヒナ数	観 察 場 所
13	6月 7日	10羽	新浅川橋下流
14	10日	5羽	" 上流
15	10日	10羽	" 下流

- (2) チョウゲンボウ
 6. 28 親2、子1 浅川(新浅川橋給水タンクの手摺) 小山
 7. 1 " " (" 親が子にスズメを給餌する) 小山

6. 繁殖 (続き)

- | | | | | |
|-----|---------|--------|-----------------------|----|
| (2) | チョウゲンボウ | | | |
| | 7. 8 | 親2、子1 | 浅川 (大和田橋=長沼橋) | 斎藤 |
| (3) | コジュケイ | | | |
| | 10. 6 | 4羽 | 北浅川 (下恩方、中ビナ連れ) | 今井 |
| (4) | キジ | | | |
| | 6. 28 | 親♀1、子4 | 浅川 (大和田橋下) | 小山 |
| | 10. 18 | 若4羽 | 浅川 (大和田橋下流、成鳥したものらしい) | 小山 |

7. 不明鳥 (未確認鳥)

- | | | | | |
|--|-------|---------|---|----|
| | 8. 11 | 1羽 | 北浅川 (東大沢橋下流100m、川岸の草むらから飛立ち、対岸の杉小立の中へ。コイサギかと思ったが、羽ばたきが早かった) | 今井 |
| | 9. 1 | 1羽 | 北浅川 (8. 11と同じ場所、同じ鳥、ハト位で白っぽい灰色、ヤマセミの可能性も) | 今井 |
| | 9. 1 | 1羽 | 北浅川 (東大沢橋付近、アオシカクワジの♀) | 今井 |
| | 9. 1 | (台風の翌日) | 浅川 (鶴巻橋=萩原橋、白い鳥、ユリカモメか) | 福島 |
| | 9. 23 | 1羽 | 浅川 (陵北大橋下流約1Km右岸の梅林、カッコウかホトトギス) | 粕谷 |
| | 11. 7 | 1羽 | 片倉の高嶺小学校付近 (ツバメの仲間) | 清水 |

8. その他

- | | | | | |
|-----|----------------|----|--|----|
| (1) | オオハラワラビ (冬ワラビ) | | | |
| | 12. 23 | 2株 | 片倉城跡公園 | 平沢 |
| (2) | タヌキ | 1頭 | 犬目駐在所付近山本商会裏の竹ヤブ | 清水 |
| (3) | コウモリ | | | |
| | 9. 8 | 1頭 | 八王子市大和田6丁目、午後2時30分、炎天下で空中ホバリングした後モルタルの家の軒に頭を下にして止まる。その後向きを上にして雨樋の間に入る。 | 小山 |
| (4) | アオスジアゲハ | | | |
| | 8. 25 | 1頭 | 浅川 (浅川橋=暁橋) | 粕谷 |
| (5) | オニヤンマ | | | |
| | 9. 1 | 1匹 | 北浅川 (下恩方) | 今井 |



イワツバメ



イワツバメ



ツバメ



ツバメ

平成2年浅川流域のイワツバメ営巣調査

— 目立つ 巣の人工破壊 —

平成2年も例年どおり標記調査を行ないました。調査方法は前年どおりで、調査対象地域を浅川全流域とし、ここを15の区域に分け、各調査区域内のコンクリート建造物を中心にイワツバメの営巣の有無を調べ、そこで繁殖を確認した巣の数をカウントしました。

この調査は5月から7月の間に2回行ない、今年利用している巣の数が2回の内、多かった方をその場所の営巣数としました。結果は次表の通りですが、昨年までの調査結果と比べ変わった点など、主なポイントは次の通りです。

- ① 全体的には、営巣地数13、営巣数198で、昨年より営巣地数が4ヶ所減った。
- ② これは、実際にはイワツバメが造巣したが、人工破壊により繁殖できなかったところが5ヶ所もあったことによるものである。
- ③ 本年、新たに営巣を始めたところは暁橋と大和田橋の間の浅川大橋で、6つの巣が確認された。松枝住宅は、昨年も営巣したが全部人工破壊されてしまい、今年も営巣数は多かったが殆ど人工破壊されてしまった。
- ④ 京王線東浅川小学校前はヒメアマツバメに乗っ取られていて、今年はいわツバメの営巣は確認できなかった。

訂正：「かわせみ」第4号（1990年2月発行）の17ページの表中、昭和62年の欄の京王高尾駅の営巣数16はミスプリントで、これを10に訂正します。

なお、今年（1990）の各調査区域別の担当者は次の通りでした。御苦労さまでした（取りまとめ責任：粕谷和夫）。

- | | | |
|------------------------|------|------|
| (1) 北浅川（大沢橋～陵北大橋）流域 | 今井達郎 | |
| (2) 北浅川（陵北大橋～松枝橋）流域 | 河村道寛 | 河村洋子 |
| (3) 浅川本流（松枝橋～鶴巻橋）流域 | 三好恒雄 | |
| (4) 浅川本流（鶴巻橋～大和田橋）流域 | 田中英吉 | 粕谷和夫 |
| (5) 浅川本流（大和田橋～長沼橋）流域 | 斎藤高昭 | |
| (6) 浅川本流（長沼橋～一番橋）流域 | 門口一雄 | |
| (7) 浅川本流（一番橋～多摩川合流）流域 | 阿江範彦 | |
| (8) 川口川（川口橋～明治橋）流域 | 粕谷和夫 | |
| (9) 川口川（明治橋～浅川合流）流域 | 三好恒雄 | |
| (10) 南浅川（案内橋～敷島橋）流域 | 川上 孝 | |
| (11) 南浅川（敷島橋～浅川合流）流域 | 榛沢 努 | |
| (12) 城山川（月夜峰新橋～浅川合流）流域 | 木村晴美 | |
| (13) 山田川（山田橋～浅川合流）流域 | 斎藤高昭 | |
| (14) 湯殿川（白旗橋～時田橋）流域 | 平沢辰夫 | |
| (15) 湯殿川（時田橋～浅川合流）流域 | 平沢辰夫 | |

平成2年(1990)までの浅川流域イワツバメ営巣数調査結果

流域別	営巣場所	1987	1988	1989	1990	
北浅川	大沢橋～陵北大橋	-	-	-	0	
	松枝住宅・・・・・・・・・・A	-	-	X	3	
	中央高速道路橋・・・・・・・・B	17	30	34	14	
浅川本流	市立第2中学校・・・・・・・・A	-	16	2	X	
	萩原橋・・・・・・・・・・B	0	2	0	2	
	暁橋・・・・・・・・・・B	0	14	42	35	
	浅川大橋・・・・・・・・・・B	0	0	0	6	
	大和田橋・・・・・・・・・・B	69	60	39	36	
	北野清掃工場・・・・・・・・A	X	X	6	0	
	ヤジマ生コン工場・・・・A	25	X	0	0	
	長沼橋・・・・・・・・・・B	0	0	0	0	
	平山中学校・・・・・・・・A	-	3	6	3	
	16号バイパス片倉台付近B	?	0	0	0	
	一番橋・・・・・・・・・・B	1	0	0	0	
	高幡橋・・・・・・・・・・B	1	0	0	5	
	川口川	川口橋～明治橋	0	0	0	0
		市立清水小学校・・・・・・・・A	4	4	0	0
市立陶 小学校・・・・・・・・A		-	1	0	X	
市立川口児童館・・・・・・・・A		-	?	2	X	
市立楠原中学校・・・・・・・・A		-	X	5	X	
シンワ(株)・・・・・・・・A		-	9	5	X	
城山川	月夜峰新橋～浅川合流点	0	0	0	0	
南浅川	京王線高尾山口駅・・・・・・・・C	6	7	6	10	
	京王線高尾駅・・・・・・・・C	10	5	5	20	
	京王線東浅川小学校前・・C	20	5	2	0	
	東横山橋・・・・・・・・・・B	6	8	5	0	
山田川	八王子工高体育館・・・・A	0	0	5	7	
	JR八王子駅・・・・・・・・D	50	92	45	51	
湯殿川	北野ハケシタビル・・・・・・・・A	1	6	9	6	
	西田中橋・・・・・・・・・・B	-	?	0	0	
	東橋・・・・・・・・・・B	-	0	1	0	
計	営巣ヶ所数	13	17	17	13	
	営巣数	210	262	219	198	

注 1. Aはコンクリート建物、Bはコンクリート道路橋、Cはコンクリート鉄道高架下、Dは鉄製デッキプレート橋上駅下を示す。
 2. -は未調査、Xは人工破壊、?は営巣あるもカウント不能を示す。

横山町ハクセキレイ集団ねぐら (NO. 2)

— 昔は近くの菊屋ビルがねぐらであった —

粕谷 和夫

八王子市横山町三角広場の街路樹 (ヤマモモ及びクスノキ) をねぐらとしているハクセキレイの数を朝の飛び出し時に毎月1回カウントした。

飛び出しは、朝の暗い内から始まり日の出頃までには全て終わること、夏でも10数羽残っていること (浅川で越夏) 最高 403羽 (10月) などが判明した。

なお、このねぐらは、10年位前はここから東側に約 150m離れている菊屋ビルにあったことが近くの人の証言でわかりました。

月別ハクセキレイねぐらから飛び出す数 (1990年 八王子市横山町)

	3:00 3:30	3:31 4:00	4:01 4:30	4:31 5:00	5:01 5:30	5:31 6:00	6:01 6:30	計 (羽)
2月11日							167	167
3月19日					38	5		43
4月7日			7	163	2			172
5月7日		8	42	3				53
6月26日	1	6	5					12
7月23日		1	15					16
8月19日			2	29				31
9月16日				46	78			124
10月15日				5	377	21		403
11月18日					97	247	5	349
12月8日					3	197	124	324



ヒメアマツバメの巣の下に住宅建設

— 京王帝都(株)が保護すると約束 —

粕谷和夫

八王子市東浅川のヒメアマツバメのコロニーがある京王高尾線高架下に京王帝都(株)が住宅建設を始めました。

これを黙って放っておくと、人工的に巣が壊される危険がありますので、小生が所属する東京都みどりの推進委員八王子の会に提案し、金井郁夫同会会長名で下記の意見書を東京都、八王子市、京王帝都(株)、及び報道期間に送付しました(平成2年11月20日)。

その結果、京王帝都(株)はこれを保護することを約束してくれました。また、読売新聞は11月25日、毎日新聞及び朝日新聞は12月8日、それぞれ多摩版でこのことを大きく取り上げてくれました。

なお、工事現場に11月23日1羽のヒメアマツバメが死んでいました。ビニールのヒモを脚に絡ませて、羽に工事用のペンキのようなものがついていました。この個体は小生が保管しています。

記

『東浅川のヒメアマツバメの保護について』

八王子市東浅川町の京王線高架下(東浅川小学校と元畜産試験場跡地に挟まれた約100メートルの区間)にヒメアマツバメの越冬コロニーがあります。現在ここに住宅建設が進められており、ヒメアマツバメは重大な危機に瀕しております。

このヒメアマツバメは約50羽程の集団で、夏は繁殖し厳寒期の冬でも同一場所で過ごしていることが『八王子カワセミ会』の調査で確認されています。

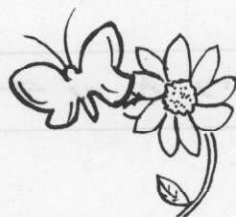
現在日本国内におけるヒメアマツバメの越冬地は他にあまり多くの例がなく、あっても南関東以西の海岸近くに限られており、東浅川のような内陸部の寒いところでのヒメアマツバメの越冬コロニーは特異的であり誠に貴重な存在となっています。

今般、住宅建設により屋根上に網等を設置し、ヒメアマツバメが入れないようにしてしまいますと、この貴重なヒメアマツバメのコロニーが絶滅する恐れがあります。

もちろん、このままにしておきますとヒメアマツバメのフンで屋根を汚染してしまいますので、ヒメアマツバメの巣の下にフン受けを設置して頂ければと思います。

どうぞ貴重な『ヒメアマツバメ』を助けて頂けますようお願い申し上げます。

身近な生き物調査 報告



— 八王子、日野市内で延 295メッシュ調査 —

八王子カワセミ会は環境庁の1990年身近な生き物調査に参加しました。

その結果、下表のとおり18名の会員から延 295メッシュ（1メッシュは1km×1km四方）調査報告があり、これを環境庁に送りました。

これは全国分布図を作る上で貴重なデータになります。

身近な生き物調査の実施結果

(メッシュ数)

報告者 コース	粕谷和夫	平沢達夫	阪田友道	田中英吉	今井達郎	川浦丹二郎	大塚行子	小助川千恵子	計
春の花	27	4	2	1	2		5	2	43
鳥の声	10	5	1	1	2	4			23
夏の虫	3		1		2		1		7
虫の声	33	3	3				1		40
秋の花	35	4	3	1			3		46
タンポポ	27	4	2		2	4	1	1	41
ツバメ	39	9	2		2	4	1	1	58
水辺の動物	25	4			2	2	3		36
計	199	33	14	3	12	14	15	4	294

『母なる川—浅川』

— 八王子市広報ビデオにカワセミ会登場 —

八王子市は平成2年7月、浅川の四季の姿や市民生活との結びつきをビデオ記録映画に収めました。

この中に平成元年5月14日に開催した、八王子カワセミ会主催の浅川探鳥会が（大和田橋から長沼橋間）が登場します。

柳の木に営巣中のコゲラの親子をウォッチングしている場面などが出てきます。

八王子市立中央図書館の視聴覚コーナーで見ることができ、また同図書館でテープの貸出しをしています。

ウォッチング・コーナー



ここにもカワセミがいた！

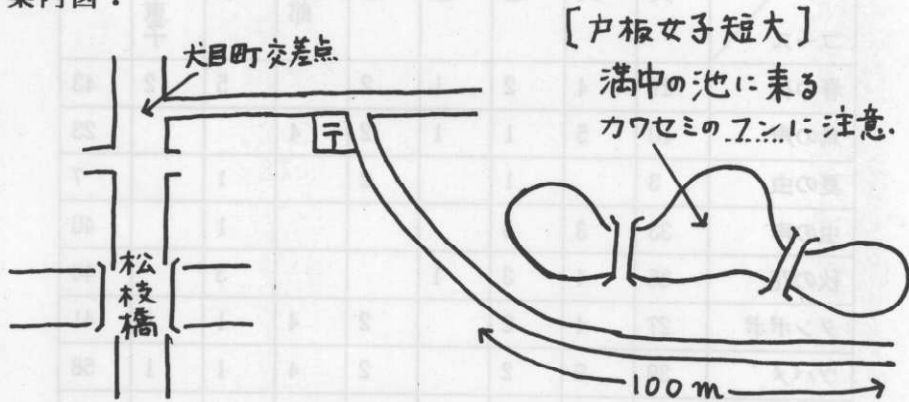
関根伸一

身近にカワセミが見られる所を紹介します。場所は八王子市犬目町の清水公園です。戸板女子短大の南側、犬目郵便局の前から入ります。

写真も撮れます。

- ：確認回数： 平成2年11月17日AM7.00
 々 24日PM3.00
 々 12月31日AM10.00
平成3年 1月 4日AM9.00

：案内図：



▶ 防鳥網にかかるツグミ ◀

小山万太郎

自宅（八王子市大和田6丁目）の東隣にあるリンゴ園に張られた防鳥網にツグミがかかってしまい、これを発見しだい放してやりましたが、その記録は次のとおりです。

- 平成2・11・27 外傷無し状態で放す。
2・12・5 防鳥網にかかった状態で猫にかまれる。発見後直ぐ外したが、傷が深く死んだ。
2・12・16 外傷無し状態で放す。
2・12・18 防鳥網が取り除かれる。



我が家には4つのツバメの巣

清水 茂

平成2年3月20日、ツバメ2羽初認しました。鳴き声、形からして、イワツバメではありませんでした。九州ではツバメが飛来したとNHKのテレビニュースを見たのが3月8日でした。2週間後にこちらで、ツバメ前線です我が家にもツバメの巣が4つあります。

八王子カワセミ会に入会して鳥のことが少しづつ判るようになり、今年いつもの年より楽しみに我が家の巣にツバメが帰って来るのを待っています。さて、我が家は新築して5年目になりますが、道路に面した玄関先のみ門が出来ていません。

我が家には、A. 新築1年後（軒裏に）、B. 2年目（玄関前下りカベの内側に）、C. 3年目（軒裏に）、D. 4年目（軒裏に）・・・と4箇所にはツバメの巣があります。

ツバメは大変外敵に弱く、植木や障害物の無い最も安全な軒裏などを場所として、人間と共存して外敵から身を守っています。又上部との空間をきらい軒裏に密着して営巣してあるのも見掛けます。

今年（平成2年）も、Dより4/28抱卵～6/4 4羽が巣立ち、
Cより6/19抱卵～7/27 4羽が元気で巣立って行きました。

8月の中頃まで毎日のように姿を見せていたツバメ達に、小さな体でどうか長ーい航海に耐え、元気で帰って来るようにと呼び掛けた事もありました。いまごろはどの辺りを飛んでいるのでしょうか。

◎妻の言葉 玄関前に門を作り、石を置いたり、植木もしたい・・・
何時、願いが叶うことかと嘆いております。

「軒裏にツバメが宿り門出来ず・しげる」

...~~~~モズの執念~~~~

河村 洋子

平成2年10月5日、いつものように北浅川へ散歩に行き、一寸面白い光景を目撃・・・

モズ5羽が数日前から縄張り争いを展開中、

眺めている私の頭上すれすれの所を何度も飛んで行っては、あちこちの木の上に止まり高鳴き合戦をしています・・・と、そのうちの2羽が空中でもつれあって争いながら川の中へ飛び込んでしまいました。

なんと、モズは5～6m流されながらも、もつれあったまま・・・

モズの縄張り争いの執念深さに改めて驚いた一コマでした。

おびつ川の探鳥会に参加して

大 関 豊

今まで全く無関心だった野鳥に興味を持って3ヶ月、ふとした機会に福島さんと出会い「八王子カワセミ会」を知りました。これまで主に山野の鳥を気軽に観察する程度ですが、それでも野鳥の鳴き声を聞いたり、しぐさを見ているだけで、自然と一体になった様で何故か心がホッと休まる気持ちが何とも言えず、本格的にのめり込みそうな気がしていた折、近く探鳥会がある事を聞いた私は「連れてってくれ・・・連れて行って頂戴」とせがんで今回の探鳥会（9月2日）に押しかけてしまった次第です。

そんなわけで、野鳥が見れば場所は気にせず・・・と、細かなルートも行先も知らずに、あれよあれよという間に川崎からフェリーに乗り継いで着いた所が「おびつ川」でした。

います、います、沢山います。大きい、小さい、色の白い、黒いの、赤いの、クチバシの長い、短い、反っているもの・・・とにかくいっぱいいました。

正直いって、今まで山野の鳥しか見ていなくて、水辺の鳥は殆ど初めてでしたので区別がつかず、感心したりびっくりしたり、水辺の鳥の多さに驚くばかりでした。

それでも足が長いセイタカシギ、オレンジ色がきれいなキョウジョシギ、それからトビの精かんさが印象に残っています。

印象といえば・・・会長始め「カワセミ会」の皆さんが和気あいあいとしていて且つ、つかず離れずで家庭的だった事、それから十年振りに同級生の木村さんに会って懐かしい話をした事、野鳥だけでなく草木や昆虫についても教わり、さらに最後の反省会は：赤ちょうちん：にも詳しく探鳥会ならず「探ちょうちん会」をした事等々・・・本当に楽しい一日でした。

この場を借りて皆さんにお礼を申し上げます。

私自身は、今後一つ一つ確実に判別できる野鳥の種類を増やしていこうと考えています。

そして野鳥のカウントが出来る様になり「八王子カワセミ会」の皆さんのお手伝いが出来ればと思っています。

今後共よろしくご指導をお願い致します。

：認めた鳥： 37種

：ベスト5： ソリハシシギ、シロチドリ、メダイチドリ、
セイタカシギ、キョウジョシギ、



湯 殿 川

平 沢 辰 夫

八王子市の南部、寺田町の丘陵地帯を源として小比企町、片倉町、打越町と流れて浅川の合流点・長沼に到る「湯殿川」をご存じでしょうか。

ほとんどの兩岸をコンクリートの護岸壁とフェンスで守られてしまっている川幅10~20m位の小さく見える川ですが、これでも立派な一級河川です。

さて、この川を中心として、探鳥コースとしての条件と特長をご紹介してみますが、浅川との合流点ではさすがに、ユリカモメ、セグロカモメ、カモ類、サギ類と浅川から入って来る鳥達を見れることと、北野駅南口、打越大橋を渡ってすぐ川岸のハシタケビル（米屋）の半地下駐車場は、すでにイワツバメの繁殖場所として有名？というぐらいで、片倉の打越橋迄は沿道も整備されていませんし、鳥も余り期待できませんので、片倉城跡公園のところの住吉橋から小比企町の白旗橋迄の約3 Kmのコースについて書いてみましょう。

先ず素晴らしい探鳥コースである条件として、

1. 鳥が非常に多いこと。

これは、この川の両側の地勢条件が良く、畑、水田、などの耕地も未だ相当の面積で川を囲っており、それに続く立木の多い原野、丘陵山林があって自然の飼が豊かであり、鳥達にとって住み易い状態が保たれているであろう。

2. 近い距離で鳥を観られること。

フェンスで囲まれているのが残念であるが、橋の数も多く川幅が狭いので、川に居る鳥達はほとんど肉眼でよく観察出来、又鳥達もそれに慣れていて、静かに見さえすれば大して警戒もしないし、時にはカルガモファミリーの昼寝を足元に見つけて、こちらがびっくりするようなこともある。

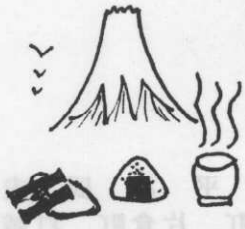
3. したがって写真なども撮り易い。

子連れのカルガモの姿なども300mmの望遠で充分キャッチできる。

4. 兩岸の道路は歩き易い。

先に書いたように3 km、廻り道をして4 kmの距離なので、のんびり歩いても2~3時間あれば十分に鳥を堪能して往復出来る。

以上ですが、時季によれば、コチドリ（繁殖も）、キアシシギ、タシギ、キジ、ヨシキリ、イカル、カケス 等は勿論、意外な珍鳥も期待できる場所であり、せめて現在の環境が維持されることを願うばかりです。



探鳥会に初参加の記

1990年6月2日
八王子市南陽台・馬場 裕

浮気

できれば一緒に参加したい、これが僕の考えだった。でも、「だいちゃんを3日も預けるのはかわいそうだし、はじめてなんだからまずあなただけ行って様子を見てきたら・・・」と妻は愛猫をタテにしてつれない返事。探鳥会への出発は朝早いので、その前日の金曜日には獣医さんとこへ連れて行かなきゃならないし、帰ってくる日曜日はお休みだから引き取れない、というわけだ。もっとも、彼女はだいぶ前から、あるセミナーを予定していて、月に何度かの土日は終日、スケジュールが詰まっていると言ってはいた。人並はずれて永いこと、独身貴族を楽しんで(?)いたせいもあって、ついこのあいだ十歳を越えたばかりの彼女と、なんとなく今だにDINKSしている僕としては、ともに出かけりゃ家は空っぽ。それならしかたがない、一人で行くことにするか。そのかわり、浮気の相手ができちゃっても知らねえからなー。

(おっとっと、この文のワープロ中に「浮気ができるぐらいの元気がありゃぁいいが」と、背後でヤマの神がわめいてる。)

敵の作った食べ物を持って、いそいそと出かけるのは、ちと、なーだけど、夕べの残りのおにぎりとウーロン茶の魔法ピンを紙袋に入れ、まっ、せーぜー楽しんでこなくっちゃと、僕は集合場所の八王子駅前に急いだ。

山産

高原を横切って延びているアスファルト道路から、急ハンドルを切ってわき道へ曲ると、砂煙りをあげて慌ただしく車が止った。二台の後続車もタイヤを軋ませてそれに続き、砂地へと連なる引き込みエリアに並ぶと、参加者の10人全員は笑顔で言葉を交わしながら車を降りる。まだ5月の末だというのに、あたりには真夏とまごうばかりの陽差しが降り注ぎ、そんなには深みを増していない浅緑色の草原に、そよ風が吹きわたっていく。北西の方角に、五合目あたりから上を真白にした峯と、雄大な裾野を望むここは富士の山麓。タンポポは陽光を楽しみ、幅ひろの葉をこまねいてギボウシも茎を伸ばし始めている。気がつくと、どの方角からも鳥のさえずりが聞こえてくる。ウグイスも、ヒバリも、ハシブトも、そして遠くにはカッコウも。すぐそばでは、先輩会員がスコープを三脚に取り付けたり、レンズを拭いたりしている。その、手慣れた動作に促されて、やおら僕はただひとつ探鳥具として持ってきた、小さな双眼鏡をバッグから取り出した。水平近くに向けてうろろうさせていると、黒っぽい小鳥が視界に入ってきた。約80メートルは先だろうか、草地の稜線に突き出た枯れ木にとまっている。

「ノビタキがあそこに！」

何人かがほゞ同時に叫ぶ。いちはやくセットされているスコープを、懸命に覗かせ

てもらう。ピントリングを微調するのももどかしく目を凝らすと、白っぽく霞みかけた雲の無い青空を背景に、純白の腹とオレンジの胸が可愛い。

「オスのノビタキだ。」

順光が幸いして、あざやかな色が確かめられる。耳を澄ますと嘴を開いてジャツ、ジャツと、一心に地鳴きしている。決して派手ではないが、純朴まるだしな草原の主役が僕たちを歓迎してくれている。おそらく3~4分だろうが、こんなにジックリと見たのは初めてじゃなかったかしら。来てよかった。

わずかな湿地に茂りはじめたカヤの穂がセッカを誘い、ヨシやススキの群落にコヨシキリとは凶鑑そのままだ。ハーブ飴や氷砂糖をしゃぶりながら、処ろどころ水たまりのある野原を、三脚を担いで歩く僕たちを不意に立ち止まらせたのは彼等。さっき、ノビタキが居た枯れ木を、すでに振り返るほどの場所まで来たが、前方の20メートルほどの向こうが、すこしばかりの丘になっている。その稜線に沿って丈高い草が壁のように茂っていて、コヨシキリや、まだ僕には確定できないセンニュウたちが代わるがわる見え隠れしている。どの鳥達も、これほど間近に見るのは初体験。でもピント合わせに馴れる頃には、レンズ越しの可憐な姿に感激し、身体を絞って鳴く声に、僕はおもわず微笑んでしまうのだった。

童 謡

山荘のドアのあたりから何か飛び出したようだった。庭にレンガを並べて金網を置き、さらに二段ほど積み重ねて火床をしつらえる。そこに、いくらか湿ってはいるが、庭で集めた枯れ枝を少しづつ、ガス火で赤く熱した木炭にくべながら、僕達は夕飯の準備に取り掛かった。待つことしばし、ナマ同然の枯れ木が樹液を滴らせて燃えはじめると、パーベキュー用の鉄板ともう一枚の焼き網を並べて即席の炉ができて上がる。

この別荘地は樹海に連なっている。延々と続くその樹海をみはるかして、街路から覗く富士の頂が淡いピンクに染まっている。今宵の宿が夕闇に暮れなすむと、あたりの清澄な空気は露を含み、急にハグ寒く感じられてくる。が、炭火は顔の火照るほどに熱気を放ち、なぜか僕を無性に嬉しく、懐かしい気分にしてくれる。大自然のタイムクロックはあまねく、そこかしこで鳴く鳥たちに演者の交代を告げているようだ。コマドリがヤブサメに、シジウカラはトラツグミに、という具合に。コジュケイもキジも、かすかに聞く遙かなツツドリも、思いなしか眠たげだ。今さっき、隣家の裏の林にスーッと姿を消したのは、カケスに違いあるまい。炉の辺りをイスや丸太で囲み、テーブルにはもとより用意の肉や魚、それに野菜や漬物など所せましとひろげる頃、やおら鳴き始めたのは、きっとクロツグミ。いずれ、おそらくヨタカも混じることだろう。そういえば、今日、弁当をひろげた森の林縁で、御夫婦で参加の奥さんが摘んだというフキもきれいに刻まれている。そこでは鶯の声ばかりして遠巻きに飛ぶカラスやトビ、それにカッコウらしき姿を杉の樹上に一度見たほかは、全くと言っていい程ツマラなかつただけに嬉しい収穫。身支度の済んだ人からさっさと庭に出て、早くビールではじめましょ。

大きくはないが暖かい炎をかこんで、いかにもバードウォッチャーにふさわしい宴だ。焼き網の上では、指をなめなめサワラの薫製をうらがえし、油を挽いた鉄板にはイカと豚肉が、ウカウカしていると一緒のタレで同じ味。その内にピーマンや菜ツバも焦げて、黒焼のでき上がり。ツヨイ人にはイイチコが待っている。身の程を知らず缶ビールをお代わりした僕は、肉とシイタケばかりにハシが行く。やがて、ここでは数少ないハイテク機器で、カラオケが始まった。ふと気づくと、山荘の入口ドアの上部付近からなにやら飛び出していくようだ。焦げ茶色の塊がヒューッと庭木の根元へ行ったかと思うなり、また戻ってくる。

「ミソだ。そういえば、この前ここに来たときヤケに近くで鳴いていたと思っていたが、ここに巣を作っていたからか。」

と、主の藤江副会長。灯りでよく見ると、細い枝をグルグルと幾重にも巻いた巣が掛かっている。皆、しばし感動の沈黙とザワメキの後、そっと元の宴席にもどったことでした。めいめいが思い思いの曲を歌いあったが、今春、会社をリタイアなされたというベテラン会員は軍歌を披露した後、色艶の良い額を撫で乍ら、

「こんな楽しいことは今までの会社生活ではめったになかったなあ・・・」

と、笑顔をクシャクシャにし、そして皆んなも山の歌などを想いだせる限りに唱和した。でも、その中に童謡や唱歌がとても多かったのはなぜだったのだろう。

前奏

朝は鳥たちの世界だ。夜が霊長目ヒト科の為ならば、明け方こそ僕たち異邦人はタイムトラベラーでなければならぬ。旅人のオキテは、できるだけ痕跡を残さずに通りすぎる。観察に徹し、息づかいもひそやかに行動したい。街路樹から電線に飛び移った、鶯に似たうす緑色の小鳥がいる。「チヨチヨチヨ、ビー」と繰り返して、ほとんど真下から見上げてても怖がらないで鳴いている。

「ああ、これはセンダイムシクイ」

と、副会長。朝まだき、4時前から出かけた先発隊が向こうからやって来て、眠い目をしばたかせながらの僕たちと二言、三言あいさつ。一団でぞろぞろと迷惑な6、7人にヤマガラの子もビックリ。高い樹の梢に向けて耳を澄ますと、コマドリとおぼしき鳴き声しきり。

「いた！」

針葉樹の先端にスズメほどの大きさ、白と紺の見慣れぬ鳥が囀っている。ズーム・スコープを借りて、いっぱい倍率でよく見ると、「チッ、チッ、チッ・・・」と前奏し、そのピッチを上げて行って極まると、「ヒン、カラカラカラカラ」と鳴いている。こちらの心を見透かしたのか、彼女はまもなく姿を消したが、どうやらまだ近くで鳴き続けてくれている。

見たことの無い素敵な姿態に興奮して、新参者の僕はすっかり饒舌になってしまった。しばらくして、再び、さっきと同じ梢に現われた恋人は、軽やかな身のさばきとともに、気にいった場所で一人おしゃべりを楽しんでいる。

「コルリだ」

と、またしても副会長。なんで、そんなに良く分っちゃうのか、僕はただただおそ

れいるばかり。逢瀬はなぜか短い。あとになって、キビタキを見たとか、エナガやコガラがどうのと、いろいろ話題になりましたが、すっかりハイになった僕のマブタにはコルリの姿だけがクッキリと、いつまでも焼きついているのでした。

海 鳥

山の中腹から次々とハング・グライダーが飛び立っていく。強い上昇気流が、空の雲の中にまで、まるで色とりどりのフトンを浮かばせているようだ。広大な朝霧高原の緑の只中に在って、アカモズやホトトギス、ホオジロ、ヒバリやトビ等、約20種近い鳥たちに一喜一憂しながら、僕達は初夏の点景になっていた。

おもしろうて やがてかなしき うぶねかな

祭には終りがある。言いふるされているが、しかし、終りはまたネクストへの始まりだとも思えます。心おどる体験は感性を鍛え、自然への深い感動はつつましい生き方につながるのではないか。博物学が好きだった僕は、自分の身の回りから生命や真理を学び摂り、できるだけナチュラルに行動しよう、そう気づいたのが今というアウト・ドア・ライフやバード・ウォッチング。マイカーに乗り、大規模開発で造成されたニュータウンなどに住みながらも、環境への配慮を忘れずにいたいものです。

今回、はじめて探鳥会に参加し、単独ではなかなか見られなかった鳥に会えたり、心うちとけた有意義な体験をさせていただき誠にありがとうございました。また、皆様の経験に裏打ちされた深い知識や確かな観察力には敬服いたしました。みずみずしい探求心としなやかなロジックをもって、これからも御指導を仰ぎたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

♥ カルガモおばさんご苦労様

清水 茂

平成2年11月11日の午後、会員の福島さんと川口川を浅川の合流点から第九小学校迄探鳥しました。

川口川は小さな川の割にカモが数多くいます。左右の堤防はフェンスが張られています、兩岸の流れの中に雑草が生え、鳥達の生活環境には良く改修されていると思えました。そこでカモに餌を与えて5年になるという遠藤菊江さん(58才)に出会いました。

この方は、午前中はボランティア活動し、午後はデパート、スーパーなどでパンやパンの耳等を買求め(品物が無い時は大変だそうです)自転車の前と後のカゴにいっぱい入れ、夕方4時頃から1時間半位、川口川橋、山王橋時には大横町の橋まで出向くそうです。

今日も山王橋で餌を与えておりました。鳥達が可愛くて可愛くて、そして毎日が楽しくてと感想をもらしておりました。

この川にいる鳥達は幸せだと思います。

「遠藤さん、毎日ご苦労さま」と声を掛けてあげたいですね。



新潟探鳥旅行

1990年11月10日

11月3日(土) 15:00~15:40 新潟市「鳥屋野潟」にて (24種)
遙か向う岸、鳥達は好きに戯れている。もっと強い陽光と倍率が欲しい。潜るから
カイツブリ、嘴の赤でユリカモメ。間違いなくアオジの囀り。何と豊かな水だろう
その他に、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ
アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、
トビ、オオバン、ウミネコ、キジバト、ハクセキレイ、カワラヒワ、スズメ、
ムクドリ、ハシブトガラス。(下線部は報告者の初認、以下同)

11月3日(土) 16:00~18:00 豊栄市「福島潟」にて (6種)
夕焼けに薄く染りつつコクウーと小白鳥が群れ飛ぶ。鴻鵠は燕雀をして黙せしむか
他に、ヒシクイ、コガモ、チュウヒ、ツグミ、アオジ。
国設福島潟鳥獣保護区管理センター：ベニマシコ、オオジュリン、カワラヒワなど。

11月4日(日) 5:00~7:30 豊栄市「福島潟」にて (23種)
葦も疎らな薄明の水面にヒシクイがざわめけば、鳶でさえ心なしか円弧小さき舞。
膚寒く、朝焼ける曇り空、小白鳥の群舞とチュウヒの孤翔は紛れなき初冬の訪れ。
他には、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガン、マガモ、コガモ、オナガガモ、
ハシビロガモ、ホシハジロ、キジ、キジバト、ハクセキレイ、モズ、ツグミ、
ウグイス、カシラダカ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス。

11月4日(日) 11:00~12:00 「瓢湖」にて (17種)
野性を忘るや、馴化せし鳥群の池水を覆うは。唯一羽遠くコサギの鋭眼に安堵す。
その他、(コクチョウ)、(コブハクチョウ)、(オオハクチョウ)、コハクチョウ、
マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、
キンクロハジロ、トビ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、アヒル。()は飼育種。

11月4日(日) 13:00~15:00 「佐潟」にて (14種)
この探鳥行の圧巻。畑中に進み、車窓から間近に見た小白鳥の愛らしい家族たち。
また、暖をとり、釜飯に舌つづみを打ち乍らのターフェル・バードウォッチング。
他、カイツブリ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ
ホシハジロ、トビ、オオバン、キジバト、ハクセキレイ、ムクドリ。

二日目は探鳥の時だけ雨が止み感謝。縁あれば宿の白鳥風を揚げに再訪したいもの
です。参加者はとにかくも我が会長の粕谷さん、苦勞の絶えない事務局の門口さん
カメラも担いで大活躍の川上さん(車提供)、あやかりたい御隠居の今井さん、いつ
も仲睦まじい河村御夫妻(車提供)、薬局を畳んで埼玉に引越す堀江さん、もしや
30そこそこ?の渡嘉敷さん、そして、人のスコープを覗きまくる馬場(記)でした



屋外喫煙の功德

平 沢 辰 夫

私はタバコを徳に好きという程でもないが、意志が弱くて今だに止められないでいるが、ここ十数年来、家族への思いやり？と部屋がヤニで汚れるのを嫌って、タバコは外で喫うことにしている。

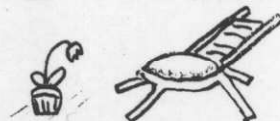
小さな庭に面したベランダに置いた椅子に座って、ゆったりした気持ちで一服する気分は仲々いいもので、タバコも一味うまいと思うし、この一刻が又鳥を始めとして諸々の天然自然を観察するのに絶好の機会になっているのである。


特に寒い時季や、天気の良い日、夜などは、その為戸一枚のことであっても、わざわざ外に出るといのは仲々億劫なものである。それがタバコにひかれて寝起きの一服から寝る前の一服迄、日に何度か自然観察の時間を持てるというのは、正に予期せぬ功德と言ってもよいのではないだろうか。

四季折々の自然のうつろい、月や星の動きや輝き、庭に来、生きる鳥や虫たちの季節による変化や思いもかけない生態の発見など、一人で悦に入っているだけでなく、家人を外に呼び出すこともしばしばである。

鳥について言えば、餌台に来るスズメ、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロカワラヒワ、ウグイス、キジバトなどの常連の観察は勿論、毎年巣箱に入ってくれるシジュウカラの繁殖の観察、時には朝一番に外に出た途端の子連れコジュケイとの出会いとか、コゲラ、モズ、アオジ、ホオジロ、ジョウビタキなどの珍客も季節によっては常連として見る事ができるし、シジュウカラ、メジロなどは、そこにいつも座っている私を全く警戒することなく、餌を催促するように頭の上まで飛んで来るし、手の平からヒマワリの種を持っていくようになるのも、根気と時間の問題と思っている。

今年の春（4月～5月）朝毎に今迄に聞いたこともないすばらしい鳥の鳴き声を耳にして、何だ何だ？と探し廻ったり、テープで声を調べた結果、オオルリに違いないとなったが、オオルリがこんなところに？と、その声の出所を探して歩き廻ること数日、突き止めたのは何と或る家の飼鳥の正にオオルリであったことや、11月18日の夜7時前（この間に10月初めから、北野台北側に残されていた山が、宅地造成のために広大な面積にわたって伐採され、鳥などの棲息環境に大きな変化があったであろうと思われるが）雨でも近いかと思わせる重く曇った空の中から、フト耳に入った何とも言いようのない（絶対に人工の音や、他の動物の声でない）鳴き声を聞いて、「トラツグミだ！」と直感、粕谷会長に電話して「居てもおかしくはない」というお返事に意を強くして、翌朝、ドンヨリした曇曇りの中の電線に、ツグミより大きく、ハトでもヒヨドリでもない鳥がうずくまるようにして止っているのを発見したが確認できずに飛び去られて舌打ちしたが、こんな事もベランダ喫煙席の一刻の観察のたまものと思っている。





我がフィールドに会員来る!

阿江 範彦

10月14日の長沼橋から一番橋迄の探鳥会の後、多摩川合流部まで継続して探鳥することとなり、粕谷会長以下9名が参加した。

この区域は、今年（平成2年）から私の受持区域である。今までの最高は23種、普通は20種弱を確認しており、カモの多い区域である。

今回は、その9倍の目、耳（酒もあって口）で踏破した。途中で酒盛りとなり、後半はスコップを片付ける会員もあって（本人も含め）足早やの探鳥となったが、キジ、コガモ、オナガガモ、ハッカチョウ、イソシギ、クロトキ、コジュケイ、トビ等、この区域で22種を確認した。キジ、クロトキは良く見るが、ハッカチョウ、コジュケイは初めての出会いであった。

特に、ハッカチョウは最初ムクドリかと思っていたが、飛んできたときに羽根に白い紋付きの様なものが見え顔付も険しく、よく見ると冠羽らしきものも見えた。図鑑によると台湾や中国には普通に繁殖しており、野生のものが渡来したか、飼養目的に輸入されたものが逃げ出したか、各地で観察されているとのこと。見るからに見知らぬ土地に来て警戒している様であった。

★

★

☞：事務局からのお願い：

平成3年度の年会費が未納の方は、お手数でも3月末までに納入されますようお願い申し上げます。



編集後記

★本号（第6号）が発刊される頃、湾岸戦争はどうなっているだろうか！それにしても、全身に泥油をかぶった瀕死の海鳥を見た時は、身体の中を戦りつが走った。

人間が造ったものを人間が争って破壊することの繰り返しが、何時か地球そのものを破滅に導いていくことの愚挙を、今こそ全人類が謙虚に考えなければならない。

★本号から頁数が増えた為、表裏印刷にかえ、編集子の我儘で手間を省く為に、投稿される方でワープロを持っている方にはそれで打たれた原稿をその儘印刷する方法をとった。機種の違いで印字にバラツキが出ることになったが何卒ご容赦願いたい。

★今年、我家の庭の餌台に毎日ジョウビタキの番いがやってくる。良く見ると、しきりにパン屑をついばんでいる。ジョウビタキの自然の餌は昆虫や木の実だと本に書いてあったが、何となく後ろめたいような、ほっとしたような気分でガラス越しに観ている。 [T. M.]

業務用酒類食品専門卸



株式会社 **ジャックフル浦島屋**

〒192 八王子市元横山町3-7-14

TEL (0426)25-1477(代表)

FAX (0426)25-1248

事業概要

★料飲店用酒・食品卸

★料飲店経営コンサルタント

★酒販店用酒・食品卸

★酒販店経営コンサルタント

★一般家庭用酒・食品宅配

★酒販量販店経営

事業所

★田町配送センター ～八王子市田町1-5

TEL 0426-26-4953 FAX 0426-26-8922

★田町現金卸売センター～八王子市田町2-5

91年5月オープン

★大和田宅配センター ～八王子市大和田町2-9-2

TEL 0426-44-6412 FAX 0426-44-6412(夜間切替)

★リカーキング高倉店 ～八王子市高倉町50-6

TEL 0426-44-7151 FAX 0426-44-7152



カ　ワ　セ　ミ

1991年 2月 第 6 号

発行人 粕谷和夫 (八王子カワセミ会・会長)

編集人 三好恒雄

連絡先 八王子市中野上町5-29-3 TEL・0426-26-8634